シラバス

科目名	ブライダルマーケテイング	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	1年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	他の業界に比べるとブライダル業界はマーケティングをやや軽視する傾向にあります。これからこの業界で働こうとしている若い人達に是非学んでおいて欲しい授業です。業界を取り巻く環境が刻一刻と厳しくなっていく中でどのようにして企業は立ち向かっていけばよいのか、またそのような環境下でウェディングプランナーにできることは何かを考えていく授業です。		
到達目標	まずマーケティングを理解し、ブライダル業界の現状を知り、これからの企業運営に役立つような若い感性を生かしたアイディアを各人が持てるようになることが目標です。		
授業の方法	ブライダル関連の書籍や企業がマーケティングに取り組んだ実例が掲載された業界紙を中心に進めていきます。		
評価方法	期末に行う筆記試験及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	ブライダル業界関連のニュースには常に関心を払いその経過を含め把握しておいてください。		
使用教材教具	新・ウェディングプランナーという仕事（オータパブリケイションズ編）　ブライダル産業新聞（ブライダル産業新聞社）　マーケティング大全（洋泉社編）		
留意点	授業を欠席した際には必ずテキスト等の該当範囲の内容を読み理解しておいてください。		

授業計画	
1	オリエンテーション（授業の目的、内容、進め方、科目の必要性）
2	「結婚式は社会装置である」とは何か 「マーケティング」とは何か
3	企業の経営とマーケティング　ドラッカーとコトラー
4	現在の婚礼マーケット
5	業界構造とマーケットシェア
6	ユーザーニーズの変化と多様性
7	ウェディングはどんな人たちで作られているのか
8	プランナーの細分化された職域について
9	ドレスコーディネーター・宴会キャプテン・フラワーコーディネーターの仕事
10	映像・音響・照明・司会者・美容の仕事
11	現在と近未来のウェディングスタイルに対応するためには
12	マーケティングのプロセス
13	婚礼におけるマーケティングとは
14	ブライダル企業のマーケティング具体例
15	期末試験（筆記）

シラバス

科目名	HR	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中里 綾乃
対象学年	1年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	学生の自己実現、目標達成の活動を支援する。		
到達目標	積極的な活動を通じ、学生同士の信頼を深め人間関係を広げる。		
授業の方法	個人面談、作文、就職支援、検定対策、学園祭の準備等		
評価方法	主体的に取り組む姿勢を高く評価。出席状況15%、授業態度5%、その他80%		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	特になし		
留意点			

授業計画	
1	個人面談、作文（私の家族について）
2	
3	
4	検定対策、就活対策
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	学園祭について
16	

シラバス

科目名	カラーコーディネート	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	柳澤　美樹
対象学年	1年前期	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	色彩についての基礎概念を理解するとともに、色彩心理や配色カードを使用した配色法などの実践的な活用法も習得します。		
到達目標	色に関する本質的な理解と目的にあった色を使用できる力の獲得し、アート表現、ビジュアルデザイン、ファッションなどの専門分野で活用することを目標とします。		
授業の方法	テキストと毎回配布するプリントを使用しての講義となります。また、配色カードを使用しての配色実技演習を行います。又、各項目毎に小テストを行い理解度を確認します。		
評価方法	授業への主体的姿勢、課題への取り組み、小テスト、定期試験、授業態度等を総合的に評価します。成績については、出席状況15%、授業態度 15%、定期試験50%、課題20%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	色彩に関する文献等、積極的に読み進める。又、日々の生活の中でのファッション、建築物、看板、パッケージ、アート作品等の色を意識して見るようにすることが望ましい。		
使用教材教具	・文部科学省後援　色彩検定公式テキスト3級編/AFT企画　・2022年版色彩検定3級本試験対策/学研プラス　・新配色カード199b/日本色研事業㈱		
留意点			

授業計画	
1	ガイダンス(授業の進め方・成績評価等) 色の働き
2	色の表示方法Ⅰ　表色系　特に色彩調和に適しているPCCSの三属性について
3	色の表示方法Ⅱ　表色系　PCCSについて、PCCSの特徴的な概念「ヒュートーンシステム」について
4	色の表示方法Ⅲ　表色系　PCCS　表記方法等
5	色の表示方法Ⅳ　表色系　PCCSまとめ
6	色彩心理Ⅰ　色が人間に与えるイメージや心理的効果・視覚効果について
7	色彩心理Ⅱ　色の錯視など知覚的効果について　配色イメージ
8	配色イメージ及び6講、7講、8講で学んだ心理的効果並びに配色イメージの実技演習
9	6講、7講、8講で学んだ心理的効果並びに配色イメージの実技演習
10	色彩調和　基本的な配色用語及び技法
11	光と色Ⅱ　光が見せる様々な現象、眼のしくみ
12	光と色Ⅰ「光」とは何か
13	光と色Ⅱ　光が見せる様々な現象、眼のしくみ
14	光と色Ⅲ　混色　新たな色を作る混色の理論、身近な混色の技術
15	定期試験
16	

シラバス

科目名	サービス英会話Ⅰ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	江泉千鶴
対象学年	1年前期　ホテル・ブライダルコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	宿泊や飲食を中心とするホテル英会話の基礎的な知識とコミュニケーション技術を習得する。		
到達目標	一般の英会話との違いを認識し、それぞれの場面での基本的な接待英会話をマスターする。		
授業の方法	各レッスンのダイアローグをプリントを使いホテル英会話の基礎を覚える		
評価方法	試験80%、出席状況15%、ダイアローグ習得状況等の授業態度5%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	テキスト付属CDを使って繰り返し学習する。		
使用教材教具	ホテル英会話Ⅰ一基礎編		
留意点	ホテル英会話に対する関心と知識を持ち表現を工夫する。		

授業計画	
1	Lesson1挨拶（到着、外出時の挨拶）
2	Lesson1挨拶（帰館、出発時の挨拶）
3	Lesson2丁寧な表現（お客様の名前を尋ねる）
4	Lesson2丁寧な表現（ご注文を伺う）
5	Lesson2丁寧な表現（お客様に丁寧にお願いする）
6	Lesson2丁寧な表現（お客様の役に立つ、お客様のおっしゃることがwからないとき）
7	Lesson3感謝と謝罪の表現（感謝の表現）
8	Lesson3感謝と謝罪の表現（謝罪の表現）
9	Lesson3感謝と謝罪の表現（お断りの表現）
10	Lesson4数字を使った表現（時刻と営業時間）
11	Lesson4数字を使った表現（階数）
12	Lesson4数字を使った表現（お金）
13	Lesson5ドアマン（お客様のご到着.ご出発）
14	Lesson5ドアマン（館内のご案内、市内案内）
15	前期期末試験
16	

シラバス

科目名	パソコン基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	須永　充代
対象学年	1年前期　ブライダル	実務/一般	一般
形式	演習		
学修内容	Windowsの基本操作から、日本語入力、Word・Excelの基礎知識を学びます。		
到達目標	Excelで簡単な表作成・グラフの挿入・データベースの管理を操作出来るレベルまで進めます。 日商PC3級受験に向けて、知識問題を学びます。		
授業の方法	Excel初級テキストを使用し、操作方法を説明します。練習問題・総合問題を各自自分のペースで解き、問題を解決します。 日商PC3級文書作成　知識問題を解きます。ミニテストも実施。		
評価方法	普段の授業態度と、率先して課題に取り組んでいるかを評価します。成績については、試験等80%、出席率15%、授業態度5%とします。		
授業時間外に必要な学修	インターネットで知りたい情報を迅速に的確に検索出来るように、日頃から使いこなせるようにしたい。		
使用教材教具	FOM出版　初心者のためのExcel初級 FOM出版　日商PC文書作成3級　知識問題・実技問題　テキスト		
留意点	パソコン・マウスを必ず持参すること。就職先で困らない程度のExcelの基礎知識を身に付けるようにしたい。		

授業計画	
1	日本語入力の基本・タッチタイピングの練習・エクスプローラーの画面構成・タスクバーにアイコンのピン止め・テキストデータのインストール
2	Excel初級テキスト　第1章～2章
3	Excel初級テキスト　第3章　練習問題
4	Excel初級テキスト　第4章　練習問題
5	Excel初級テキスト　第5章　練習問題
6	Excel初級テキスト　総合問題1～5
7	Excelの課題プリントを解く
8	Excelの課題プリントを解く
9	Excelの課題プリントを解く
10	Excelの課題プリントを解く
11	日商PC文書作成　実技問題テキスト　第1章・第6章・練習問題
12	日商PC文書作成　実技問題テキスト　第7章・練習問題
13	日商PC文書作成　実技問題テキスト　第8章・練習問題
14	前期学習内容のまとめ
15	前期テスト
16	

シラバス

科目名	ビジネス基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	緑川　恵
対象学年	1年　ブライダル、ホテル、トラベル	実務/一般	一般
形式	講義		
学修内容	基本的なビジネスマナーである、挨拶、電話の応対、名刺交換などを含め、社会人としての立場や振る舞いを理解して身につけてもらいます。		
到達目標	就職活動を迎えるにあたり、対象となる企業に対してメールや電話、訪問などで失礼や過不足のないコミュニケーションをとれるようになることを目標にします。		
授業の方法	各単元の講義の後、ロールプレイングを行います。実践で役立つ、心のこもったビジネスマナーを身につけていきます。		
評価方法	普段の挨拶や授業にのぞむ態度も評価します。成績については、出席状況15%、授業態度15%、期末試験70%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日常生活においてもマナーを身につけるよう積極的に学ぶ姿勢が大切です。先生、家族、アルバイト先の先輩など身近な大人との交流によってコミュニケーション能力の向上に努力してください。		
使用教材教具	ビジネス能力検定ジョブパス　3級公式テキスト、ビジネス能力検定ジョブパス3級公式試験問題集		
留意点	この科目以外にキャリアデザイン、一般常識の授業も積極的に取り組んでください。		

授業計画	
1	授業内容、ビジネス能力検定についての説明とお辞儀について ビジネスマナーの重要性や授業の進め方、検定について説明する。お辞儀の使い分けの理解と練
2	働く意識、キャリア形成について 充実した職業人生を過ごすため働く意義、キャリア形成についてを考える。
3	コミュニケーション能力について 仕事を円滑にするためのコミュニケーションの重要性を学習し、自分のコミュニケーションの傾向を
4	敬語の種類と必要性について 基本的な敬語の知識を理解し、相手を敬う敬語の重要性について学習する。
5	尊敬語と謙譲語の使い方について 時、場所、相手による敬語の使い方の変化を学習し、すばやく判断し反映できるようにする。
6	名詞の尊敬語、謙譲語について 「会社」、「気持ち」など名詞の尊敬語、謙譲語を学習する。
7	ビジネスの場にふさわしい言葉づかい 肯定表現、クッション言葉の重要性を理解する。
8	電話応対の重要性について　①電話のかけ方、受け方 ビジネスにおいて重要な感じ良い電話応対について学習する。その後、ロールプレイングを行う。
9	電話の取りつぎと携帯電話のマナー 状況に応じた電話の取りつぎ方を学び、ロールプレイングを行う。
10	来客応対の基本について 受付、接客時の心のこもった応対を学習し、ロールプレイングを行う。
11	来客応対の流れと上座、下座について 廊下、エレベーター、応接室への案内の仕方を学習する。応接室、自動車の席次について理解す
12	ビジネス用語の理解と新聞からの情報収集について 日本の社会、経済の現状と将来を考える上で必要な知識の学習、新聞からの効率的な情報収集を
13	名刺交換のマナー、グラフの理解と特徴について 数値情報を正しく、早く理解するための表やグラフの特徴や作り方を学習する。
14	前期期末試験対策 前期に学習した内容の復習を行う。
15	前期期末試験
16	

シラバス	1 st Year Bridal, 2 nd Year Bridal– First Term

科目名	English英会話	必修/選択	必修
授業時数	32時間	担当教員	ポール　カタモール
対象学年	1年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	To study English,that will help students in their future workplace,vacations abroad and contact with foreigners. To open students minds,to different cultures,manners and ways of thinking.		
到達目標	To build the students level of English and confidence in using it.		
授業の方法	A combination of self study, group work and interaction between students and teacher.		
評価方法	5% of the Total score is ″effort in class″. Here ,I would like to see students trying to interact with the teacher, to use and apply English that has been learnt. Another 15% for Attendance and 80% for Final test.		
授業時間外に必要な学修	Try to make learning English easier, by including it in your interests/hobbies for example reading comic books in English, listening to foreign pop/rock songs, watching movies with or without subtitles, watching Youtube clips from foreign countries.		
使用教材教具	Text book, workbook, songs, DVD, handouts, surveys, photographs, games and everyday conversation.		
留意点	I would like the students to grow and develop, not only as students but as young people changing into adults.To not shy away from people who are different, but to think about and try to engage them in conversation,however simple.		

授業計画	
1	Introductions
2	Numbers
3	Language
4	Airport
5	Food I
6	Food II
7	DVD in English
8	Opposites
9	What do you like?
10	Can/ Cannot
11	In/On/Under/By
12	Body
13	Review for Test
14	Preperation for Test
15	Test

16	

シラバス

科目名	フードビジネスⅠ	必修/選択	選択必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	1年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	外食産業に携わるにあたって必要な経営の知識全般を学び、社員としてあるいは経営者になった場合に役立つように備える。		
到達目標	まず会社における経営の概要を理解し外食産業においての特徴的なビジネスのあり方や新しいフードビジネスモデルの実情を探ることができるようになることを目標とする。		
授業の方法	教材のテキストを中心に進めていきます。		
評価方法	期末に行う筆記試験及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	新聞等で外食産業の記事やニュースに関心を払っておくこと。		
使用教材教具	フードビジネス（社団法人全国調理師養成施設協会編）		
留意点	授業を欠席した際には必ずテキスト等の該当範囲の内容を読み理解しておいてください。		

授業計画	
1	日本の外食産業の発展
2	外国の外食産業
3	外食産業の市場規模と動向①
4	外食産業の市場規模と動向②
5	企業の経営　企業の利益と社会的責任
6	企業の経営　経営理念と経営方針
7	企業の経営　連携先企業での実践①
8	企業の経営　経営の形態
9	企業の経営　法人の設立
10	経営者として必要なこと　経営者の条件　人材の育成
11	経営者として必要なこと　連携先企業での実践②
12	組織のあり方
13	経営戦略と経営方針
14	マーケティング
15	期末試験（筆記）

シラバス

科目名	ヘア＆メイク基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	徳重千鶴
対象学年	1年前期　ブライダルビジネス	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	ブライダルの仕事につくにあったって必要な、ヘアーメイクのバランスを学びます。特に1年では、メイクの基礎と応用を学びます。また、どこかのタイミングで、「日本化粧品検定」をトライしてもらいます。		
到達目標	1年生は、メイクを中心に学びます。自分で自分の顔をバランス良くメイクする。そして、相手の顔もバランス良くメイクする。		
授業の方法	初めに、デザイン画を描き、理論を学びます。前期は自分の顔をメイクします。後期は、モデルを常に変えて、色々な顔で相手に合ったメイクを学んでいきます。顔の型、目の型など、違いを分析し、理論にもとずいて学んでいきます。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、実技テスト80%で評価します。ただし、いくらメイクの実技テストが良くても、授業態度が極めて悪かった場合は、点数をあげられない事もあります。		
授業時間外に必要な学修	常に、流行や、TPOに応じたファッションバランスは、アンテナをたてていて欲しいです。		
使用教材教具	立て鏡、ティシュペーパー、ポイントメイク道具は自前で。スキンケアやその他は、学校に教材で揃えてあります。		
留意点	自分の顔や、相手の顔をモデルにして授業をするので、ノーメイクの状態で授業に参加する。		

授業計画	
1	1年間の流れを説明します。そして、生徒の中からモデルを選び、授業のファイナルイメージをデモンストレーションします。
2	「美」とは、健康の上に成り立ち、美しいメイクとは、健康で美しい肌の上に成り立ちます。肌の構造を学び、スキンケアの方法を学びます。
3	セルフメイク{自分の顔を自分でメイクすること} 「ベースメイク」　デザイン画制作、デモンストレーション、実習
4	セルフメイク 前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
5	セルフメイク 「アイメイク」　デザイン画制作、デモンストレーション、実習
6	セルフメイク 前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
7	セルフメイク 「眉」　デザイン画制作、デモンストレーション、実習
8	セルフメイク 前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
9	セルフメイク 「チーク」　デザイン画制作、デモンストレーション、実習
10	セルフメイク 前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
11	セルフメイク 「リップ」デザイン画制作、デモンストレーション、実習
12	セルフメイク 前回の復習と確認の実習、デモンストレーション
13	相モデルメイク「相手の顔をメイクすること} 基本的にセルフメイクと同じですが、相手にメイクする時の注意点を学びます。相モデルベースメイ
14	相モデル 「ベースメイク」　実習、1人1人チェックする
15	相モデル 「アイメイク」デモンストレーション、実習
16	相モデル「アイメイク」実習、1人1人チェックする

シラバス

科目名	一般教養Ⅰ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	1年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	企業で働く上で業務を円滑に進めていくためはいわゆる「常識」や「教養」を必要とされる場面が数多くあります。特にサービス業においてはお客様との会話をよりスムースに行うためにも常識的な知識が要求されることがあります。またそのようなことが多くあるため企業は採用試験の際に一般教養の試験を課し、選抜をしています。授業では国語・歴史・地理・政経・数学・英語・時事問題を中心に学びます。		
到達目標	一般的な常識や一般教養の基礎を習得することを目標とします。		
授業の方法	一般教養問題集の問題に取り組んだ後、解説・解答を行います。理解するのに難易度が高いものや重要なものについては特に重点的に解説を行います。		
評価方法	期末に行う筆記試験及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	復習は特に大事ですので力を注いでください。また時事問題には常に関心を持ち、業界との関連性を意識してください。		
使用教材教具	就職筆記試験対策問題集 （株式会社ウィネット編） 時事問題については新聞や業界紙を適宜参考資料とします。		
留意点	授業を欠席した際には必ずその授業で行われた問題を解き指導を仰いでください。		

授業計画	
1	オリエンテーション（授業の目的、内容、進め方、この科目の必要性）
2	一般教養（1）　国語①、 地理①
3	一般教養（2）　国語②、 数学①
4	一般教養（3）　国語③、 歴史①
5	一般教養（4）　英語①、 数学②
6	一般教養（5）　国語④、 数学③
7	一般教養（6）　地理②、 時事問題
8	一般教養（7）　歴史②、 英語②
9	一般教養（8）　数学④、 数学⑤
10	一般教養（9）　国語⑤、 数学⑥
11	一般教養（10）　国語⑥、 英語③
12	一般教養（11）　数学⑦、 数学⑧
13	一般教養（12）　政治経済①、政治経済②
14	一般教養（13）　国語⑦、 時事問題
15	期末試験（筆記）

シラバス

科目名	中国語	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	林　秀行
対象学年	1年前期　ブライダルビジネス・ホテル・トラベルコ	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	中国語でのコミュニケーションに必要な中国語の基礎力を養成する。 発音の習得、あいさつなどの簡単な会話と基礎文法を理解し修得する。		
到達目標	中国語の発音記号を習得し、漢字を中国語で読めるようにすること、基本的なな挨拶などを聞いてわかることを目標にします。		
授業の方法	基本的には講義形式で行いますが、一人ひとりに話しかけて、簡単な会話練習もします。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度 5%、課題80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	国際社会で何が起きているのか、ニュースなどに気を配ること。		
使用教材教具	400語で学ぶ中国語入門（白帝社）		
留意点			

授業計画	
1	中国語ローマ字表記（ピンイン）発音練習　声調
2	中国語ローマ字表記（ピンイン）発音練習　単母音
3	中国語ローマ字表記（ピンイン）発音練習　子音
4	中国語ローマ字表記（ピンイン）発音練習　複母音
5	あなたは中国人ですか？　人称代名詞、疑問詞
6	AはBです構文の復習　名前の言い方、聞き方
7	お名前は？　名前の言い方、聞き方の練習
8	このジャスミン茶はおいしいですか？　指示代名詞、形容詞
9	代名詞、形容詞の復習と練習
10	今日は何曜日？　年、月、日　主語＋動詞＋目的語、否定形
11	曜日、年、月、日の復習　主述述語文の練習
12	中華料理は好きですか？　場所名詞、　～に行く、～に来る
13	前期に学んだことの文法的解説と復習
14	数字を使う言葉を中心に全体を復習
15	前期末試験
16	

シラバス

科目名	レストランサービス基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中條　安哲
対象学年	1年前期　ブライダルビジネス・ホテルコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	レストランサービスに必要な基本的知識やサービスマインドの学習。		
到達目標	「レストランサービス技能検定3級」の学科試験に合格する知識レベル。		
授業の方法	レストランサービス技能検定　学科試験の試験範囲を中心に、テキストの内容を要約したプリントを配布して学習。		
評価方法	筆記試験80%（中間40%・期末40%）・出席状況15%・授業態度5%		
授業時間外に必要な学修	毎回配付するプリントの復習、テキストを使用した予習を行う。		
使用教材教具	使用テキスト「西洋料理　料飲接遇サービス技法」		
留意点	料飲サービスの基礎知識を得ることで、2年次に国家資格取得を目指す。		

授業計画	
1	第2章　接客の基本
2	第3章　宴会とレストランサービス（宴会①）
3	第3章　宴会とレストランサービス（宴会②）
4	第3章　宴会とレストランサービス（宴会③）
5	第3章　宴会とレストランサービス（宴会④）
6	第3章　宴会とレストランサービス（レストラン①）
7	第3章　宴会とレストランサービス（レストラン②）
8	中間試験
9	第3章　宴会とレストランサービス（レストラン③）
10	第3章　宴会とレストランサービス（レストラン④）
11	第3章　宴会とレストランサービス（レストラン⑤）
12	第3章　宴会とレストランサービス（レストラン⑥）
13	テーブルマナーの概要
14	前期まとめ
15	前期期末試験

シラバス

科目名	レストランサービス基礎実習	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中條　安哲
対象学年	1年前期　ホテル・ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	実習		
学修内容	レストランサービスに必要な基本的技術や知識の習得、実践的な実習を通じてサービスマインドを磨く。		
到達目標	「レストランサービス技能検定3級」の実技試験に合格するサービスレベル。		
授業の方法	レストラン実習室にて制服を着用してスタッフ役とゲスト役に分かれて交互に実習を行う。デモンストレーションで実習のポイントを確認後、実際のレストランで使用されているサービス用器具を使用して実習を行う。		
評価方法	期末試験において前期の実習内容をまとめた実技試験を行う。 （評価の割合）期末試験80%・出席状況15%・授業態度5%		
授業時間外に必要な学修	「レストランサービス基礎」（座学）で学んだ知識と実習内容のまとめ、実習室での復習や予習を行う。		
使用教材教具	毎回異なる実習内容に応じたサービス器具。		
留意点	料理や飲物のサービスを通じてお客様満足度の向上を目指す。基礎実習を繰り返し行うことで基本的技術を習得する。		

授業計画	
1	接客の基本 身だしなみ・笑顔・お辞儀・言葉遣い・接客態度
2	お辞儀・歩き方・案内方法 分離礼・3種のお辞儀・ゲストの案内方法・エレベーターの乗降
3	サービストレイの取扱い 正しい持ち方・飲物の提供・ナイフフォークのセット・卓上のバッシング
4	コーヒーのサービス サービストレイの乗せ方・コーヒーポット、カップ等の取扱い
5	紅茶のサービス サービストレイの乗せ方・ティーポット、カップ等の取扱い
6	皿の取り扱い① 皿の持ち方・歩き方・料理の提供方法
7	皿の取り扱い② 皿とカトラリーの下げ方・皿に残った残菜の下げ方
8	ウォーターピッチャー・ワインのボトルサービス 正しい注ぎ方・グラスに合わせた量とサービス方法
9	テーブルクロスの掛け方 2人で掛ける・1人で掛ける
10	ダストパンの取扱い ダストパンのサービス方法・パン屑の取り方
11	サーバーの取扱い① 持つ・つかむ・盛り付ける
12	サーバーの取扱い② パン・料理のサービス
13	ワインの抜栓 ソムリエナイフの取扱い・抜栓とティスティングの方法
14	前期実習まとめ
15	前期期末試験

シラバス

科目名	キャリアデザイン	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中里　綾乃
対象学年	1年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	就職活動全体をイメージし、活動に必要なことを習得する。自己や業界を知る。		
到達目標	各企業や幅広い職種と出会い、目指す方向を定める。就職活動を円滑に行えるよう準備する。		
授業の方法	就職活動の流れを指導。自己分析、紹介分析を通して1人1人個別にアドバイスする。		
評価方法	やるべき事に取り組む姿勢を重視する。出席状況15%、授業態度5%、その他80%		
授業時間外に必要な学修	普段から新聞や本を読む、ニュースを見る時間を作ろう。		
使用教材教具	就職naviノート		
留意点	分からないことは放置せず、疑問を持って何でも相談しよう。		

授業計画	
1	就活の流れを説明
2	マイナビ、リクナビ登録
3	自己分析（自分について知る）
4	↓
5	業界調査（業界について知る）
6	↓
7	自己PR（頑張ってきたこと、経験したこと）
8	↓
9	履歴書の書き方
10	↓
11	インターンシップについて
12	選考方法と種類について
13	↓
14	エントリーシートについて
15	↓
16	

シラバス

科目名	コミュニケーション技法	必修/選択	必修
授業時数	15時間	担当教員	中里　綾乃
対象学年	1年前期 ブライダルビジネス・ホテル・トラベルコース	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	コミュニケーションの基本の「話す」ことから学び、話し方や表現力を身につける。さらに「聞く」技術も磨きながら、より効果的に、的確に意見を伝えられるコミュニケーション技法を体得していく。		
到達目標	コミュニケーションの大切さを学び直し、ビジネスシーンにも通用するコミュニケーション技術の基礎を身に着ける。		
授業の方法	テキストの内容に沿いながら、1対1やグループでの演習を通じ好感の持てる話し方、聞き方を体験する。自分に足りないものや長所に気づき、更にコミュニケーション力を高める。		
評価方法	2回行う1分間スピーチと、演習やグループワークに積極的に関わる姿勢を総合的に評価。成績は出席15%、授業態度5%、課題80%で評価。		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	コミュニケーション技法テキスト、演習プリント		
留意点			

授業計画	
1	印象交換（コミュニケーションを体験・自身の行動をチェック）
2	コミュニケーションの定義（目的、手段、話す聞くについて・買い物案内図）
3	コミュニケーションの基本を身につける（・ア行で話そう　・言葉を使わず会話をしよう　・絵によるコミュニケーション）
4	自分の話し方を見直す（テーマを決めてスピーチ・他者評価で自分のクセに気づく）
5	きれいな発声・発音を身に着けよう（複式呼吸の練習・姿勢・表情のチェック）
6	効果的に話す（5W2H、主題話題主張、AIDMA）
7	身ぶり手ぶり、身体での表現（ジェスチャーゲーム）
8	1分間スピーチ①
9	グループワーク【いろいろな人が住むマンション】
10	きくこととは（私のききかた）
11	聴くことの重要性（一方通行、双方通行のコミュニケーション）
12	聞き手の反応で話し方が変わる（あいづち、うなずき、繰り返しを使って会話する）
13	話を促進する聴く技術（対話紹介）
14	グループワーク「地震に必要なもの」
15	1分間スピーチ②
16	

シラバス

科目名	フラワーアレンジメント	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中野　美由紀
対象学年	1年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	作品制作を通じてアレンジやコサージュのデザイン、メカを学ぶ。また、季節により流通する花の種類を学ぶ。		
到達目標	ブライダルの現場に必要な花の名前や咲き方の種類、扱い方を身に着ける。		
授業の方法	生花を使いテーマに沿ったアレンジメントを制作。		
評価方法	アレンジ制作では、正しい手順で制作できているか、メカを理解しているかを重視する。出席状況15%、授業態度5%、課題80%。		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	花器、吸水性スポンジ、ワイヤー、フローラルテープ、花ばさみ		
留意点			

授業計画	
1	フラワーネストアレンジ
2	ラウンドスタイル
3	カスミソウの花冠
4	花束とラッピング
5	コサージュ
6	ラウンドスタイル
7	チースのリース
8	ホリゾンタルスタイル
9	ラベンダースティック
10	バラの花束
11	デンファレの花冠
12	トライアンギュラーコサージュ
13	ヒマワリの花束
14	入才を使ったアレンジ
15	ヘアオーナメント
16	

0

科目名	ブライダル基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中里　綾乃
対象学年	1年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	日本のブライダルを取り巻く環境や、伝統・慣習、挙式、披露宴の特徴や流れについて学ぶ。		
到達目標	WBJ認定「ウェディングプランナー」の取得を目指すとともに、ウェディングプランナーに求められるスキルを習得する。		
授業の方法	テキストに沿って講義。特に重要な項目については、課題のプリントを配布し実践させ、理解度を深める。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、課題10%、試験70%		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	日本のウェディングプランナー育成プログラム　プリント		
留意点			

授業計画	
1	ブライダル業界 （ブライダルの業態）
2	ブライダル関連業者
3	ブライダルスペシャリストの職種
4	ブライダル市場
5	日本のブライダルの歴史、六曜
6	↓
7	お見合い、結納
8	結納品、引出物について
9	欧米の結婚式の歴史と習慣
10	挙式（神前式）
11	（仏前式）
12	（キリスト教式）
13	（人前式）
14	披露宴のスタイル
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	ホテル基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	斎藤　誠
対象学年	1年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	ホテルで提供されているサービスについて体系的に学び、幅広い知識を習得します。		
到達目標	ホテルのサービス部門(宿泊・料飲・宴会・調理部門等)の業務内容について、基本知識を身に付けます。		
授業の方法	教材テキストに沿って進めていきます。さらに、定期的に問題演習も取り入れながら、理解度を深めていきます。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度5%、試験80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	授業で勉強したホテルに関連する専門用語の意味を覚えられるように復習を心掛けて下さい。		
使用教材教具	ホテルビジネス基礎編、ホテルビジネス練習過去問題集700選		
留意点	ホテルの仕事に対する理解や興味を持てるような授業内容へ工夫することに努めます。		

授業計画	
1	宿泊部門の業務（1）
2	宿泊部門の業務（2）
3	宿泊部門の業務（3）
4	問題演習
5	料飲部門の業務（1）
6	料飲部門の業務（2）
7	問題演習
8	宴会部門の業務（1）
9	宴会部門の業務（2）
10	問題演習
11	調理部門の業務（1）
12	調理部門の業務（2）
13	問題演習
14	授業まとめ
15	期末試験
16	

シラバス

科目名	HR	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中里 綾乃
対象学年	1年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	学生の自己実現、目標達成の活動を支援する。学園祭を経験する。		
到達目標	積極的な活動を通じ、学生同士の信頼を深め人間関係を広げる。		
授業の方法	就職支援、検定対策、体験入学,学園祭の準備片付け等		
評価方法	主体的に取り組む姿勢を高く評価。出席状況15%、授業態度5%、その他80%		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具			
留意点			

授業計画	
1	学園祭準備
2	
3	学園祭の反省点と改善点
4	検定対策・就職対策、個人面談
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

シラバス

科目名	カラーコーディネート	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	柳澤　美樹
対象学年	1年後期	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	前期に実施する「色彩論Ⅰ」に引き続き、色彩についての基礎概念を理解を深めます。また「パーソナルカラー」の基礎理論と実践的な活用法を学習します。		
到達目標	色に関する本質の理解と実践的活用を学ぶとともに、「色彩検定3級」の取得を目標とします。また「パーソナルカラー」の基礎理論を学習し職場で活かせるスキルを身につけます。		
授業の方法	色彩検定3級内容「色彩論Ⅰ」(前期)は前期と同じ方法で行う。「パーソナルカラー」についてはパーソナルカラー4シーズン独自の色についての理解を深めるための配色実技、課題に多く取り組む。		
評価方法	授業への主体的姿勢、課題への取り組み、小テスト、定期試験、授業態度等を総合的に評価します。成績については、出席状況15%、授業態度 15%、定期試験20%、課題50%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	色彩に関する文献等、積極的に読み進める。前期と同様、日々の生活の中でのファッション、建築物、看板、パッケージ、アート作品等の他に人の眼、髪、肌の色を特に意識して見るようにすることが望ましい。		
使用教材教具	色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト　モジュール1:初級/NPO法人　日本パーソナルカラー協会 パーソナルカラー配色カード96色　　「色彩論Ⅰ」(前期)使用教材一式		
留意点			

授業計画	
1	定期試験見直し
2	ファッションとインテリアの色彩
3	AFT3級検定試験に向けて
4	AFT3級検定試験に向けて
5	パーソナルカラーの歴史・パーソナルカラーに関連した色彩調和論 フォーシーズン・イエローベース・ブルーベースについて
6	パーソナルカラー診断方法
7	各シーズンのまとめ
8	各シーズンのまとめ
9	配色実技演習
10	フォーシーズカラーの応用
11	フォーシーズカラーの応用
12	フォーシーズカラーの応用
13	パーソナルカラー検定問題演習
14	パーソナルカラー検定問題演習
15	定期試験
16	

シラバス

科目名	キャリアデザイン	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中里　綾乃
対象学年	1年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	業界の調査を行い就職を希望する企業をピックアップする。就職活動がスムーズに行えるよう自己分析・企業分析をより一層具体的に取り組んでいく。		
到達目標	就職を希望する企業をいくつピックアップし、インターンシップや企業説明会に積極的に参加する。 自己分析、企業分析した内容を履歴書に反映させる。		
授業の方法	個々の就活の進捗状況を把握しながら、アドバイスする。		
評価方法	やるべき事に取り組む姿勢を重視する。出席状況15%、授業態度5%、その他80%		
授業時間外に必要な学修	普段から新聞や本を読む、ニュースを見る時間を作ろう。		
使用教材教具	就職naviノート		
留意点	就活を自分事として動き出すよう促す。		

授業計画	
1	自己分析をより深く進める、自分のキャッチコピーを考える
2	
3	就職したい企業をピックアップ、企業分析、インターンシップ情報収集、企業説明会情報収集
4	
5	
6	企業就職希望調査、個別にアドバイス
7	
8	希望企業の採用情報の収集、就職活動準備のサポート
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

シラバス　1 st Year Bridal, 2nd Year Bridal –
2 nd Term

科目名	English英会話	必修/選択	必修
授業時数	32時間	担当教員	ポール カタモール
対象学年	1年後期 ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	To study English,that will help students in their future workplace,vacation,contact withforeigners. To open students minds,to different cultures,manners and ways of thinking.		
到達目標	To build the students level of English and confidence in using it.		
授業の方法	A combination of self study, group work and interaction between students and teacher.		
評価方法	5% of the Total score is ″effort in class″. Here ,I would like to see students trying to interact with the teacher, to use and apply English that has been learnt. Another 15% for Attendance and 80% for Final test.		
授業時間外に必要な学修	Try to make learning English easier, by including it in your interests/hobbies for example reading comic books in English, listening to foreign pop/rock songs, watching movies with or without subtitles, watching Youtube clips from foreign countries.		
使用教材教具	Text book, workbook, songs, DVD, handouts, surveys, photographs, games and everyday conversation.		
留意点	I would like the students to grow and develop, not only as students but as young people changing into adults.To not shy away from people who are different, but to think about and try to engage them in conversation,however simple.		

授業計画	
1	Present– Past
2	Family
3	Medical
4	Shopping
5	Where are you from?
6	Survey Quiz
7	What are you doing tommorrow?
8	Ordering food
9	Transport
10	Feelings
11	Christmas
12	I lost my bag!
13	What time is your flight?
14	Review for Test
15	Preperation for Test
16	Test

シラバス

科目名	パソコン基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	須永　充代
対象学年	1年後期　ブライダル	実務/一般	一般
形式	演習		
学修内容	日商PC文書作成　3級受験に向けての試験勉強を主に進めます。		
到達目標	日商PC文書作成　3級合格を目指します。		
授業の方法	日商PC文書作成　3級　知識科目・実技科目のテキストを使用し、更に過去問題・模擬問題を解きます。		
評価方法	普段の授業態度と、率先して課題に取り組んでいるかを評価します。成績については、出席状況15%、授業態度15%、課題40%、試験30%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日商PC3級試験内容に出る、パソコン全般に対しての知識を深めます。分からないパソコン用語などは、インターネットで検索し、十分理解できるように学習すること。		
使用教材教具	FOM出版　日商PC文書作成　3級　知識問題・実技問題テキスト　使用		
留意点	試験内容を正確に読み取り、指示通りの機能を使い操作が出来るように力を付けます。		

授業計画	
1	前期内容の復習
2	日商PC文書作成3級テキスト　模擬問題1・2
3	日商PC文書作成3級テキスト　過去問題の模擬試験1・2
4	日商PC文書作成1級テキスト　過去問題の練習問題1
5	日商PC文書作成2級テキスト　過去問題の練習問題2
6	知識科目のテキスト　共通分野
7	知識科目のテキスト　共通分野
8	知識科目のテキスト　文書作成分野
9	日商PC文書作成3級　実際の検定と同じプログラムを使用したサンプル問題
10	日商PC文書作成4級　実際の検定と同じプログラムを使用した模擬問題1
11	日商PC文書作成5級　実際の検定と同じプログラムを使用した模擬問題2
12	知識問題　小テスト
13	日商PC文書作成　過去問題の再確認
14	日商PC文書作成　過去問題の再確認
15	後期テスト
16	

シラバス

科目名	ビジネス基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	緑川　恵
対象学年	1年　ブライダル、ホテル、トラベル	実務/一般	一般
形式	講義		
学修内容	前期に実施する「ビジネスマナーⅠ」に引き続き、基本的なビジネスマナーに対する理解を深めるとともに、社会においての振る舞いを念頭により実践的なスキルを身につけてもらいます。		
到達目標	社会人1年目として、改めて入社後の教育を受ける必要がない程度に、考え方や振る舞い方を実践できるようになることに加え、「ビジネス能力検定3級」の取得を目標とします。		
授業の方法	前期に引き続き講義による基本的内容の理解とロールプレイングでビジネスマナーを身につけていきます。また、検定取得に向けての対策問題にも取り組みます。		
評価方法	普段の挨拶や授業にのぞむ態度も評価します。検定結果も評価に加えます。成績については、出席状況15%、授業態度15%、期末試験50%、検定結果20%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	社会人にとってコミュニケーション能力は重要です。学校、アルバイト先などにおいてもコミュニケーション能力の向上に努力してください。		
使用教材教具	ビジネス能力検定ジョブパス　3級公式テキスト、ビジネス能力検定ジョブパス3級公式試験問題集		
留意点	この科目以外にキャリアデザイン、一般常識の授業も積極的に取り組んでください。		

授業計画	
1	ビジネス文書の役割と書き方について 文書作成能力の必要性を理解する。社内文書の作成について学習する。
2	ビジネス文書の作成、電子メールの書き方について 社外文書の作成、電子メールの特徴や書き方について学習する。
3	社外文書の出し方とわかりやすい文章の基本について 封筒、はがきの書き方、脇付けについて学習し、宛名書きの練習を行う。
4	会社活動の基本と経済環境の変化について 会社の活動とその存在価値、法人について学習する。経済環境の変化と求められる人材について
5	効率的、合理的な仕事の進め方について PDCAサイクルについて学習する。
6	ビジネス能力検定3級対策問題への取り組み 検定対策問題、過去問題に取り組み苦手分野の復習を行う。
7	ビジネス能力検定3級対策問題への取り組み 検定の出題傾向の把握と苦手分野の復習を行う。
8	冠婚葬祭の基本について 慶事のマナー、結婚式のマナーにおける水引の結び方や表書きの理解と記入の練習を行う。
9	賀寿、正礼装について 長寿を祝う意味や正礼装について学習する。
10	弔事のマナーについて 社員、取引先の方の訃報を受けた際に必要な知識について学習する。
11	年賀状のマナー、贈答の基本マナーについて 感謝の気持ちを形にしたお中元、お歳暮のマナーについて学習する。
12	食事のマナーについて 西洋料理、日本料理の基本マナーについて学習する。
13	就職活動におけるマナー 企業への電話のかけ方のロールプレイング、履歴書の送付、内定のお礼状の書き方を学習する。
14	学年末試験対策 後期授業内容の復習をする。
15	学年末試験
16	

シラバス

科目名	フードビジネスⅡ	必修/選択	選択必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	1年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	外食産業に携わるにあたって必要な経営の知識全般を学び、社員としてあるいは経営者になった場合に役立つように備える。		
到達目標	まず会社における経営の概要を理解し外食産業においての特徴的なビジネスのあり方や新しいフードビジネスモデルの実情を探ることができるようになることを目標とする。		
授業の方法	教材のテキストを中心に進めていきます。		
評価方法	期末に行う筆記試験及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	新聞等で外食産業の記事やニュースに関心を払っておくこと。		
使用教材教具	フードビジネス（社団法人全国調理師養成施設協会編）		
留意点	授業を欠席した際には必ずテキスト等の該当範囲の内容を読み理解しておいてください。		

授業計画	
1	財務管理　経営のための数字
2	簿記の基礎
3	貸借対照表
4	損益計算書
5	法人の税金
6	経営分析　財務諸表から読む経営改善
7	企業の健康診断
8	利益計画の策定
9	飲食店の開業①
10	飲食店の開業②
11	飲食店の開業③
12	飲食店の開業④
13	飲食店の開業⑤
14	飲食店の開業⑥
15	期末試験（筆記）

シラバス

科目名	ブライダルマーケテイング	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	1年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	他の業界に比べるとブライダル業界はマーケティングをやや軽視する傾向にあります。これからこの業界で働こうとしている若い人達に是非学んでおいて欲しい授業です。業界を取り巻く環境が刻一刻と厳しくなっていく中でどのようにして企業は立ち向かっていけばよいのか、またそのような環境下でウェディングプランナーにできることは何かを考えていく授業です。		
到達目標	まずマーケティングを理解し、ブライダル業界の現状を知り、これからの企業運営に役立つような若い感性を生かしたアイディアを各人が持てるようになることが目標です。		
授業の方法	ブライダル関連の書籍や企業がマーケティングに取り組んだ実例が掲載された業界紙を中心に進めていきます。		
評価方法	期末に行う筆記試験及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	ブライダル業界関連のニュースには常に関心を払いその経過を含め把握しておいてください。		
使用教材教具	新・ウェディングプランナーという仕事（オータパブリケイションズ編）　ブライダル産業新聞（ブライダル産業新聞社）　　マーケティング大全（洋泉社編）　1からのマーケティング（碩学舎）		
留意点	授業を欠席した際には必ずテキスト等の該当範囲の内容を読み理解しておいてください。		

授業計画	
1	プランナーの営業と必要なスキル
2	顧客満足・顧客感動とは
3	分析フェーズ （3C　PEST　SWOT）
4	構築フェーズ （STP　4P）
5	ブライダル企業のポジショニング分析
6	ブライダル企業の商品戦略　立地戦略
7	価格戦略　販促戦略
8	4Pと4C（顧客ファーストという考え方）
9	婚礼におけるウェブやSNS
10	オンリーワン戦略・差別化戦略
11	企業におけるマーケティング成功事例
12	ライフスタイルの変化とブライダル
13	ブライダル業界とAI
14	ブライダル業界の未来
15	期末試験（筆記）
16	

シラバス

科目名	ブライダル基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中里綾乃
対象学年	1年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	新規接客や打合せの流れ、それぞれの打合せに必要な知識やルールを学び、プランナーとしての実践力を身に着ける。		
到達目標	WBJ認定「ウェディングプランナー」の取得を目指すとともに、ウェディングプランナーに求められるスキルを習得する		
授業の方法	テキストに沿って講義。特に重要な項目については、課題のプリントを配布し実践させ、理解度を深める。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、課題10%、試験70%		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	日本のウェディングプランナー育成プログラム　プリント		
留意点			

授業計画	
1	新規接客から成約業務
2	婚礼打合せ （招待状）
3	↓
4	（婚礼料理、ドリンク）
5	（テーブルプランとレイアウト）
6	（引出物、披露宴の進行）
7	婚礼衣装 （洋装）
8	婚礼衣装（和装）
9	ブーケ、ブートニア　美容着付
10	装飾
11	見積書、手配業務
12	検定対策
13	認定「ウェディングプランナー」実施
14	販売促進のツール、企画
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	ヘアーメイク	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	徳重千鶴
対象学年	1年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	学園祭という1つの集大成を形にすることで、自分の技術を客観的に見つめて、反省と目標を立て直していきます。学園祭が開催されないときも、到達目標目指して、学んでゆきます。		
到達目標	相手の顔をメイクしていくことで、ここを、こうしたらメイクでアップするということを学びます。		
授業の方法	毎回違うモデルで実習することで、色々な対応が出来るようにしていきます。		
評価方法	前期と同じ		
授業時間外に必要な学修	前期と同じ		
使用教材教具	前期と同じ		
留意点	前期と同じ		

授業計画	
1	学園祭準備
2	学園祭準備
3	学園祭準備
4	しばらく学園祭の準備で、授業の流れから離れていたので、流れに戻します。「アイメイク」まで進めていたので、復習と確認の実習で、「アイメイク」までを、相モデル実習。
5	相モデル「眉」デモンストレーション、実習
6	相モデル「眉」、実習、１人１人チェックする
7	相モデル「チーク」デモンストレーション、実習
8	相モデル「チーク」、実習、１人１人チェックする
9	相モデル「リップ」デモンストレーション、実習
10	相モデル「リップ」、実習、１人１人チェックする
11	全てトータルで学んだので、理解度の浅いところを、確実なものとしていきます。
12	さらに、完成度を上げていきます。
13	後期の実技テストの流れと、練習をします。
14	後期の実技テストの流れと、練習をします。
15	相モデルの実技テスト、１人目
16	相モデルの実習テスト、２人目

シラバス

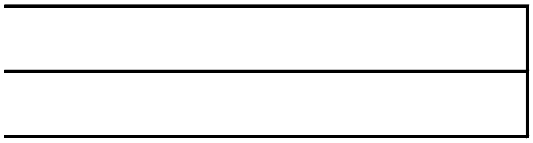
科目名	ホスピタリティ論	必修/選択
授業時数	30時間	担当教員
対象学年	1年後期	実務/一般
形式	講義	
学修内容	ホスピタリティの意味を理解し、日本文化とホスピタリティの関係 て、よりよい人間関係作りを考えていきます。	
到達目標	「ホスピタリティ」とは、相手を思いやる「おもてなしの心」です。ビ 切な心の持ち方です。これから社会に出るにあたり、必要なホス いても、相手を思いやる気持ちを行動でわかりやすく表現できる	
授業の方法	前半は、顧客満足につながるホスピタリティの知識を学び、後半 て、自分なりの意見が持てるよう進めていきます。	
評価方法	レポートの内容・提出期限を明記することで、学生の計画的な学 席状況5%・授業態度15%で評価します。	
授業時間外に必要な学修	新聞やニュースを毎日チェックすること。また、日常生活のあらゆ	
使用教材教具	テキストは特に使用しません（資料配布）・レポート提出に際して	
留意点	受講のマナーを守る（授業遅刻・居眠り・携帯電話使用や飲食禁	

授業計画	
1	授業ガイダンス（授業の進め方とルール・評価について・自
2	ホスピタリティの意味・ホスピタリティが注目される理由
3	ホスピタリティとサービスの違い
4	ホスピタリティの向上が仕事にもたらす影響
5	ホスピタリティ・コミュニケーション①察する力、想像する力
6	ホスピタリティ・コミュニケーション②アイコンタクト・ワンラン
7	ホスピタリティ・コミュニケーション③褒め上手・聞き上手に
8	ホスピタリティ・コミュニケーション④ホメゴロシート作成
9	企業とホスピタリティ
10	ホスピタリティを実践する企業・組織①
11	ホスピタリティを実践する企業・組織②
12	ホスピタリティを実践する企業・組織③
13	接客の極意
14	総括

15	後期期末テスト
16	

必修
野口　輝美
実務
にも目を向け、さらに組織と個人の関係につい
ジネスに限らず、それは日常生活の中でも大 ピタリティを理解するとともに、日常生活にお ことを目標とします。
はレポート作成を通して、ホスピタリティについ
習を促します。テスト60%・レポート20%・出
るシーンでも、観察力や気づきを養うこと。
は、パソコンを使用します。
止など）・提出期限を守ること。

己紹介シート作成）
ク上の挨拶
なる



シラバス

科目名	一般教養Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	1年後期ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	企業で働く上で業務を円滑に進めていくためはいわゆる「常識」や「教養」を必要とされる場面が数多くあります。特にサービス業においてはお客様との会話をよりスムースに行うためにも常識的な知識が要求されることがあります。またそのようなことが多くあるため企業は採用試験の際に一般教養の試験を課し、選抜をしています。授業では国語・歴史・地理・政経・数学・英語・時事問題を中心に学びます。		
到達目標	一般的な常識や一般教養の基礎を習得することを目標とします。		
授業の方法	一般教養問題集の問題に取り組んだ後、解説・解答を行います。理解するのに難易度が高いものや重要なものについては特に重点的に解説を行います。		
評価方法	期末に行う筆記試験及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	復習は特に大事ですので力を注いでください。また時事問題には常に関心を持ち、業界との関連性を意識してください。		
使用教材教具	就職筆記試験対策問題集 （株式会社ウィネット編） 時事問題については新聞や業界紙を適宜参考資料とします。		
留意点	授業を欠席した際には必ずその授業で行われた問題を解き指導を仰いでください。		

授業計画	
1	一般教養（14）　国語⑧、 地理③
2	一般教養（15）　国語⑨、 数学⑨
3	一般教養（16）　国語⑩、 歴史③
4	一般教養（17）　英語④、 数学⑩
5	文章表現
6	数的推理①
7	数的推理②
8	一般教養（18）　政治経済③、政治経済④
9	一般教養（19）　歴史④、 地理④
10	一般教養（20）　英語⑤、英語⑥
11	一般教養（21）　現代社会
12	一般教養（22）　日本・世界の宗教・思想
13	時事問題
14	判断推理①
15	期末試験（筆記）

シラバス

科目名	中国語	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	林　秀行
対象学年	1年後期　ブライダルビジネス・ホテル・トラベルコ	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	中国語でのコミュニケーションに必要な中国語の基礎力を養成する。 発音の習得、あいさつなどの簡単な会話と基礎文法を理解し修得する。		
到達目標	中国語の発音記号を習得し、漢字を中国語で読めるようにすること、基本的なな挨拶などを聞いてわかることを目標にします。		
授業の方法	基本的には講義形式で行いますが、一人ひとりに話しかけて、簡単な会話練習もします。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度 5%、課題80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	国際社会で何が起きているのか、ニュースなどに気を配ること。		
使用教材教具	400語で学ぶ中国語入門（白帝社）		
留意点			

授業計画	
1	誕生日は何月何日　先週、今週、来週　親族呼称
2	日付の言い方の練習　今日は～月～日　「的」の用法
3	人数をたずねる　動詞「有」の用法
4	「いる、いない、ある、ない」の練習
5	年齢、比較　～と同じ　～より大きい
6	AとBどっちが大きい？　AはBより2歳年上　今日は昨日より暑い
7	今何時？　時刻の言い方　「了」の用法
8	時刻の言い方の練習　何時何分　「食べない」と「食べてない」
9	動詞の否定形の確認　　数字を使う言葉
10	値段の聞き方　1個いくら？　形容詞
11	値段の言い方の練習　中国の通貨　世界の通貨の言い方
12	私は中国に行きたい　～したい　～したくない
13	買いたい、食べたい、行きたいなどの練習　日時を入れて演習する
14	全体を復習
15	後期末試験
16	

シラバス

科目名	レストランサービス基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中條　安哲
対象学年	1年後期　ブライダルビジネス・ホテルコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	レストランサービスに必要な基本的知識やサービスマインドの学習。		
到達目標	「レストランサービス技能検定3級」の学科試験に合格する知識レベル。		
授業の方法	レストランサービス技能検定　学科試験の試験範囲を中心に、テキストの内容を要約したプリントを配布して学習。		
評価方法	筆記試験80%（中間40%・期末40%）・出席状況15%・授業態度5%		
授業時間外に必要な学修	毎回配付するプリントの復習、テキストを使用した予習を行う。		
使用教材教具	使用テキスト「西洋料理　料飲接遇サービス技法」		
留意点	料飲サービスの基礎知識を得ることで、2年次に国家資格取得を目指す。		

授業計画	
1	食品の基礎知識
2	オードブル・野菜の概要
3	代表的なスープ・パスタ
4	魚・肉料理の概要
5	チーズの基礎知識
6	動画による学習（食材・料理）
7	中間試験
8	ワインの基礎知識
9	プロトコールの概要
10	レストラン検定　学科過去問題
11	レストラン検定　学科過去問題
12	動画による学習（レストランサービスの基礎）
13	後期まとめ
14	後期まとめ
15	後期期末試験

シラバス

科目名	レストランサービス基礎実習	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中條　安哲
対象学年	1年後期　ホテル・ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	実習		
学修内容	レストランサービスに必要な基本的技術や知識の習得、実践的な実習を通じてサービスマインドを磨く。		
到達目標	「レストランサービス技能検定3級」の実技試験に合格するサービスレベル。		
授業の方法	レストラン実習室にて制服を着用してスタッフ役とゲスト役に分かれて交互に実習を行う。デモンストレーションで実習のポイントを確認後、実際のレストランで使用されているサービス用器具を使用して実習を行う。		
評価方法	期末試験において後期の実習内容をまとめた実技試験を行う。 （評価の割合）期末試験80%・出席状況15%・授業態度5%		
授業時間外に必要な学修	「レストランサービス基礎」（座学）で学んだ知識と実習内容のまとめ、実習室での復習や予習を行う。		
使用教材教具	毎回異なる実習内容に応じたサービス器具		
留意点	料理や飲物のサービスを通じてお客様満足度の向上を目指す。基礎実習を繰り返し行うことで基本的技術を習得する。		

授業計画	
1	カフェ・カクテル実習
2	カフェ・カクテル実習
3	カフェ・カクテル実習
4	カフェ・カクテル実習
5	ランチタイムのサービス①
6	ランチタイムのサービス②
7	ランチタイムのサービス③
8	ランチタイムのサービス④
9	朝食のサービス①
10	朝食のサービス②
11	朝食のサービス③
12	朝食のサービス④
13	朝食のサービス⑤
14	後期実習まとめ
15	後期期末試験

シラバス

科目名	サービス英会話Ⅰ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	江泉千鶴
対象学年	1年後期　ホテル・ブライダルコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	宿泊や飲食を中心とするホテル英会話の基礎的な知識とコミュニケーション技術を習得する		
到達目標	前期に続き一般の英会話との違いを認識し、それぞれの場面での基本的なホテル英会話から、さらに実務英会話への上達を目指す。		
授業の方法	各レッスンのダイアローグを使い、実務英会を習得する。		
評価方法	試験80%、出席状況15%、ダイアローグ習得状況等の授業態度5%で評価する。		
授業時間外に必要な学修	テキスト付属CDの音声を最大限に活用する。		
使用教材教具	ホテル英会話Ⅰ ー基礎編		
留意点	ホテル英会話に対する関心と知識を持ち自分なりの表現を工夫していく。		

授業計画	
1	Lesson6ベル・パーソン（チェック・イン）
2	Lesson6ベル・パーソン（客室にて）
3	Lesson6ベル・パーソン（バゲッジ・ダウン）
4	Lesson7クロークルーム・アテンダント（荷物・貴重品の預かり）
5	Lesson7クロークルーム・アテンダント（荷物の引き取り）
6	Lesson8フロント・デスク・スタッフ（予約）
7	Lesson8フロント・デスク・スタッフ（チェック・インとチェック・アウト）
8	Lesson8フロント・デスク・スタッフ（インフォメーション）
9	Lesson9ハウスキーパー（客室の清掃、物品の届け）
10	Lesson9ハウスキーパー（靴磨きのサービス、洗濯物）
11	Lesson10レストラン・スタッフ（コーヒーショップ）
12	Lesson10レストラン・スタッフ（ルーム・サービス注文）
13	Lesson10レストラン・スタッフ（ルーム・サービス注文の届け）
14	期末試験範囲復習
15	後期期末試験
16	

シラバス

科目名	フラワーアレンジメント	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中野　美由紀
対象学年	年後期　コース(学年・コースを入力)	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	花の構造を理解し手際よく作業するスキル、正しいワイヤリング技術、適切なラッピング方法を身に着ける。		
到達目標	ブライダルの現場に必要な花の名前や旬、扱い方を身に着ける。さらにラッピング、リボンの作り方、ワイヤリング方法を習得する。		
授業の方法	生花を使いテーマに沿ったアレンジメントを制作。		
評価方法	アレンジ制作では、正しい手順で制作できているか、メカを理解しているかを重視する。出席状況15%、授業態度5%、課題80%。		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	花器、吸水性スポンジ、ワイヤー、フローラルテープ、花ばさみ		
留意点			

授業計画	
1	ラウンドスタイル
2	ユーカリのリース
3	パンプキンアレンジ
4	レッドウィローを使ったアレンジメント
5	ラウンドコサージュ
6	コットンフラワーブーケ
7	キャンドルを使ったアレンジ
8	きらきら星アレンジ
9	クリスマスリース
10	↓
11	フェザーリング
12	ホリゾンタルスタイル
13	春の花のアレンジメント
14	ガーベラの花束とループリボン
15	バレンタインアレンジメント
16	

シラバス

科目名	プレゼンテーション	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	小林　一英
対象学年	1年後期	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	この授業では、情報収集・分析・発表を通じて自らの意見を持ち、相手にわかりやすく伝えるスキルを身につけて志望の企業(業界)の選考準備をします。また、就職後のキャリアや人生のプランについても考えて行きます。		
到達目標	プレゼンテーションや面接、グループディスカッションなど採用試験において評価される意見が言える。		
授業の方法	テーマに沿った講義の後、各自が調べ自分の言葉で発表します。発表後に講評をします。どうしたら相手が興味関心を持ってもらえるかを考え・発表をすることを心がけてもらいます。		
評価方法	発表内容の評価と普段の授業態度等を総合的に評価します。特に授業態度ではテーマに取り組む姿勢を重要視します。成績については、出席状況15%、授業態度 5%、課題80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	読書を習慣にしてインプットの総量を増やし、新聞やニュースをチェックして、社会で何が起きているかを調べ深掘りして下さい。		
使用教材教具	特になし		
留意点	自主的に情報収集を続け、自分の意見の精度を高めて下さい。		

授業計画	
1	就活とプレゼンテーションについて
2	ニュースについて調査発表
3	ニュースについて調査発表
4	課題図書　発表
5	業界テーマ　研究発表
6	疑似説明会　説明会での聞き取り方と要点のまとめ方
7	疑似説明会　説明会での聞き取り方と要点のまとめ方
8	企業研究と志望動機のポイント
9	企業研究と志望動機作成
10	志望動機発表
11	面接練習　オンライン
12	面接練習　オンライン
13	面接練習
14	面接練習
15	期末　集団面接

シラバス

科目名	ホテル基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	斎藤　誠
対象学年	1年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	1年前期に学修した内容を振り返るとと共に、現在のホテル業界が置かれている現状の理解や最新動向も踏まえて学んでいきます。		
到達目標	ホテル業界で働いていく上で求められる基礎知識・技術の習得はもちろんのこと、ホテル業界自体やホテルの仕事をより深く理解することを目標としていきます。		
授業の方法	教材テキストに沿って進めていきます。さらに、定期的に問題演習も取り入れながら、理解度を深めていきます。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度5%、試験80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	授業で勉強したホテルに関連する専門用語の意味を覚えられるように復習を心掛けて下さい。		
使用教材教具	ホテルビジネス基礎編、ホテルビジネス練習過去問題集700選、併せてプリントを適宜配布します。		
留意点	ホテル業界を目指す学生にとって、就職を意識しながら授業に取り組んでもらえるように、ホテルで働くイメージが持てるような内容を計画していきます。		

授業計画	
1	マーケティング部門の業務（1）
2	マーケティング部門の業務（2）
3	総務・人事部門の業務（1）
4	総務・人事部門の業務（2）
5	施設管理部門の業務（1）
6	施設管理部門の業務（2）
7	仕入・購買部門の業務（1）
8	仕入・購買部門の業務（2）
9	経理・会計部門の業務（1）
10	経理・会計部門の業務（2）
11	MICEビジネス（1）
12	MICEビジネス（2）
13	MICEビジネス（3）
14	授業まとめ
15	期末試験
16	

シラバス

科目名	キャリアデザインⅠ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	1年前期ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	就職活動を通して社会や会社について学び自分自身の再発見や再認識に結び付ける。		
到達目標	就職活動を通し自分を知ることと社会の仕組みや働くことの意義を自分なりに考えられようになることを目標とします。		
授業の方法	発表やグループディスカッションを通してコミュニケーション力、作文での自己表現力の向上を目指します。また講義により社会の仕組みへの理解を深めます。		
評価方法	課題提出及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	身の回りの社会人に社会や企業の話をたくさん訊くようにして下さい。		
使用教材教具	適宜配布します。		
留意点	ディスカッションなどには積極的に取り組むようにして下さい。やむを得ず欠席の場合は授業内容についてクラスメートに確認するか担当教員に問い合わせをしてください。		

授業計画	
1	グループディスカッション③
2	就活全体指導①
3	就活全体指導②
4	就活全体指導③　個別指導①
5	就活全体指導④　個別指導②
6	就活全体指導⑤　個別指導③
7	就活全体指導⑥　個別指導④
8	就活全体指導⑦　個別指導⑤
9	就活全体指導⑧
10	就活全体指導⑨
11	就活全体指導⑩
12	就活全体指導⑪
13	就活全体指導⑫
14	就活全体指導⑬
15	就活全体指導⑭

シラバス

科目名	パソコン応用	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	須永　充代
対象学年	2年前期　ブライダル	実務/一般	一般
形式	演習		
学修内容	この授業では、社会人として必要なパソコン基礎内容をしっかり身に付け、更に即戦力に繋がるように、実務に役立つ機能を学習します。		
到達目標	Wordでは、見やすいビジネス文書作りと図の機能を生かしたチラシ作成。Excelでは、関数を利用した表計算とグラフ作成。PowerPointでは、印象の強いプレゼン資料の作成を目標とします。		
授業の方法	テキストに沿って、機能の説明をします。その後、関連する練習問題を各自、自分のペースでデータ入力から、計算式の入力、書式設定等を行います。		
評価方法	普段の授業態度と、率先して課題に取り組んでいるかを評価します。成績については、試験等80%、出席率15%、授業態度5%の評価とします。		
授業時間外に必要な学修	仕事先で役立つように、チラシや看板に興味を持ちデザイン力や発想力を付けるようにし、プレゼンの機会があった場合には、自信をもって望めるように個人の発表に慣れてもらう。		
使用教材教具	初心者のためのPowerPoint　他　課題問題		
留意点	就職先で、既に働いている方々に信頼、期待されるようなパソコンの実務力を付けてください。		

授業計画	
1	初心者のためのPowerPointテキスト
2	初心者のためのPowerPointテキスト
3	初心者のためのPowerPointテキスト　総合問題
4	初心者のためのPowerPointテキスト　総合問題
5	PowerPointプリント課題　アニメーションの作成
6	PowerPointプリント課題　テンプレートの利用・スマートーアートの利用
7	Wordのプリント課題　表作成とチラシ作り
8	PowerPointプリント課題　プレゼン資料の作成
9	PowerPointプリント課題　図形機能を使った、地図作成
10	私の夢について、パワーポイントでまとめる
11	私の夢について、パワーポイントでまとめる
12	私の夢について、プレゼン・自己評価・他者評価
13	私の夢について、プレゼン・自己評価・他者評価
14	私の夢について、プレゼン・自己評価・他者評価
15	後期テスト
16	

シラバス

科目名	ビジネス応用	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	野口　輝美
対象学年	2年前期	実務/一般	実務
形式	講義		
学修内容	1年次で学んだビジネスマナーの基礎を実践的なレベルで活かす力をつけます。また、前半は就職対策として必要なマナーも習得します。		
到達目標	就職活動に向けて、社会人として求められるビジネスマナーとスキルを実践的に学びます。		
授業の方法	ロールプレイングや演習を取り入れて、積極的な学習を促します。		
評価方法	配分割合（出席状況15%・授業態度5%・確認テスト20%・期末テスト60%）		
授業時間外に必要な学修	日常生活のあらゆるシーンでも、観察力・気づきを持つこと。		
使用教材教具	日本能率協会マネジメントセンター　2022ビジネス能力ジョブパス公式テキスト・副教材として資料配布		
留意点	本講義の性質上、遅刻や忘れ物、不適切な授業態度（携帯電話使用・飲食・いねむり等）は減点します。		

授業計画	
1	授業ガイダンス（授業の進め方とルール・評価について・自己紹介シート作成）
2	就職対策①面接は応募書類から始まる
3	就職対策②送付状作成（PC使用）
4	就職対策③お礼の手紙作成
5	ビジネスマナーの必要性・礼儀の5原則
6	ビジネスにおける印象管理
7	ビジネスシーンにおける聞き方のマナー
8	好感の持てる話し方
9	間違えやすい敬語
10	電話応対①電話応対の基本マナー
11	電話応対②電話のかけ方（ロールプレイング）
12	電話応対③電話の受け方（ロールプレイング）
13	電話応対④クレーム電話の対応・携帯電話のマナー
14	総括
15	前期期末テスト
16	

シラバス

科目名	ヘア＆メイク実践	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	徳重千鶴
対象学年	2年　前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	ブライダルの仕事につくにあったて、必要なヘアーメイクのバランスを学ぶ応用編です。		
到達目標	2年では、前期でヘアーを学びます。後期では、学園祭という発表の場があり、そこを1つの目標として完成度をあげ、バランスの良いヘアーメイクの作り方を確実なものとします。		
授業の方法	基本的なヘアーアイロンでの巻き方、ピンの止め方、ゴムのしばり方、バランスの良いボリュームの作り方を、相モデルで実技実習していきます。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、実技テスト80%で評価します。ただし、いくら実技テストの出来が良くても、授業態度が良くない者は点数をあげられない事もあります。		
授業時間外に必要な学修	常に、流行や、TPOに応じたファッションバランスなどには、アンテナをたてていてほしいです。		
使用教材教具	立て鏡、ティシュペーパー、ポイントメイクは自前で、その他は教材で用意してあります。		
留意点	常に相モデルで授業をするので、顔や、ヘアーをかせるようにする。		

授業計画	
1	1年間の流れを説明します。生徒の中からモデルを選び授業のファイナルイメージをデモンストレーションする。
2	ヘアーアイロンでの巻き方 デモンストレーション、相モデル実習
3	前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
4	ピンの止め方 デモンストレーション、相モデル実習
5	前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
6	ゴムのしばりかた デモンストレーション、相モデル実習
7	前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
8	カールアップヘアー「シンプル基本アップ」 デモンストレーション、実習
9	前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
10	編み込みヘアー「巻きおろし→毛先をまとめないでたらします」 デモンストレーション、実習
11	前回の復習と確認の実習、1人1人チェックする
12	編み込みヘアー「シニヨン→毛先をまとめる」 デモンストレーション、実習
13	前期のテストに向けて、グループ分け、（3人組での作品作り、モデル、ヘアー、メイクの担当分け）、デザイン画制作。
14	デザイン画にもとずいて、作ってみる。
15	↓前期テスト（デザイン画にもとずいて）
16	

シラバス

科目名	一般教養Ⅲ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	2年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	企業で働く上で業務を円滑に進めていくためはいわゆる「常識」や「教養」を必要とされる場面が数多くあります。特にサービス業においてはお客様との会話をよりスムースに行うためにも常識的な知識が要求されることがあります。またそのようなことが多くあるため企業は採用試験の際に一般教養の試験を課し、選抜をしています。授業では国語・歴史・地理・政経・数学・英語・時事問題を中心に学びます。		
到達目標	一般的な常識や一般教養の基礎を習得することを目標とします。		
授業の方法	一般教養問題集の問題に取り組んだ後、解説・解答を行います。理解するのに難易度が高いものや重要なものについては特に重点的に解説を行います。		
評価方法	期末に行う筆記試験及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	復習は特に大事ですので力を注いでください。また時事問題には常に関心を持ち、業界との関連性を意識してください。		
使用教材教具	就職筆記試験対策問題集 （株式会社ウィネット編） 時事問題については新聞や業界紙を適宜参考資料とします。		
留意点	授業を欠席した際には必ずその授業で行われた問題を解き指導を仰いでください。		

授業計画	
1	一般教養（1）　国語⑧、 地理③
2	一般教養（2）　国語⑨、 数学⑨
3	一般教養（3）　国語⑩、 歴史⑤
4	一般教養（4）　英語⑦、 数学⑩
5	一般教養（5）　国語⑪、 数学⑪
6	数的推理③　数的推理④　時事問題
7	判断推理②　判断推理③
8	一般教養（6）　数学⑫、 数学⑬
9	一般教養（7）　国語⑫、 数学⑭
10	一般教養（8）　英語⑤、 英語⑥
11	文章表現
12	一般常識模擬問題①
13	一般常識模擬問題②
14	一般常識模擬問題③
15	期末試験（筆記）

シラバス

科目名	レストランサービス実践（座学）	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中條　安哲
対象学年	2年前期　ホテル・ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	レストランサービスの実践的な応用知識、ホスピタリティマインドの学習。		
到達目標	「レストランサービス技能検定3級」の学科試験に合格する知識レベル。		
授業の方法	1年次に習得したレストランサービスの基礎知識をベースに、関連する応用知識を学ぶ。		
評価方法	筆記試験40%（中間20%・期末20%）・実技試験40%・出席状況15%・授業態度5%		
授業時間外に必要な学修	8月のレストランサービス技能検定（学科試験）に向けて、授業の予習・復習を行う。		
使用教材教具	使用テキスト「西洋料理　料飲接遇サービス技法」		
留意点	関連分野の知識も含めて幅広く、継続的に学習すること。		

授業計画	
1	飲料の種類および特徴（ワイン・ビール・スピリッツ他）
2	飲料の種類および特徴（ワイン・ビール・スピリッツ他）
3	宴会サービス（宴会の種類・準備・運営・サービス他）
4	宴会サービス（宴会の種類・準備・運営・サービス他）
5	レストランサービス（各種サービス方法・セッティング・客席案内・注文他）
6	レストランサービス（各種サービス方法・セッティング・客席案内・注文他）
7	中間試験
8	レストランのテーブルサービス（料理、飲物のサービス方法他）
9	食事の国際習慣（プロトコール・ドレスコード他）食文化（宗教による食の禁忌・食育他）
10	施設管理（防火管理・消防用設備他）
11	食品衛生（食中毒・食品の保存・衛生管理他）
12	公衆衛生（保健所の事業・感染症の予防他）
13	安全衛生（労働災害・労働安全衛生）
14	前期まとめ
15	前期期末試験

シラバス

科目名	和装基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	実技…木村えりこ　講義…中里綾乃
対象学年	2年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	実習・講義		
学修内容	実技で着付けの手順、小物、取り扱い方を、講義で着物の種類や格、特徴を学ぶ。		
到達目標	着物の扱い方、小物の役割を理解し、着物のトラブルにも対応できるスキルと現場で活かせる実践力を身に着ける。		
授業の方法	人数を半分に分け、実技と講義を週交代で実施する。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、試験80%（実技…40%、講義…40%）		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	浴衣、帯、腰ひも、伊達じめ、プリント		
留意点			

授業計画	
1	全体オリエンテーション
2	実技…補正 講義…季節と着分け、染と織、帯の種類、振袖
3	↓
4	実技…補正から伊達じめ 講義…留袖、紋の種類
5	↓
6	実技…補正から伊達じめ 講義…訪問着、付下げ
7	↓
8	実技…帯結びまで 講義…色無地、喪服
9	↓
10	実技…帯結びまで 講義…小紋、江戸小紋
11	↓
12	実技…帯結びまで 講義…浴衣、男性のきもの
13	↓
14	期末テスト①
15	期末テスト②
16	

シラバス

科目名	国際文化論	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	2年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	現代はグローバリゼーションにともなって社会の多文化化が進み、異なる文化との接触が日常的に起こっています。サービス業界においてもインバウンドの増加により異文化に対しての知識や理解が必要とされています。この授業では主に食文化を通して世界各地域の文化・宗教などを学び多様化する社会で活躍できる人材を育成することを目標とします。		
到達目標	外食産業を志す人たちには食の知識が不可欠になります。それと共に宗教や地域・気候などによる食文化の違いを理解し知識を深め、文化によるコミュニケーションスタイルの違いや外国からのお客様の文化的背景まで察することが出来るようになるのが目標です。		
授業の方法	食文化や宗教について書かれた書籍を読み、日々起こる国際的なニュースなどを取り上げながら進めていきます。		
評価方法	期末に行う筆記試験及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	国内外で起きる様々な出来事に関心を持ちその原因について考えたり調べたりすることによって知識を深めるようにして下さい。		
使用教材教具	世界史を変えた50の食物（原書房編）　衣食住の旅（古今書院編）　おとなの教養（池上彰著　NHK出版新書）		
留意点	授業を欠席した際には必ずその該当部分の内容を理解をしておいてください。		

授業計画	
1	オリエンテーション（授業の目的、内容、進め方、科目の重要性）
2	パンと聖書　宗教と食のタブー
3	羊肉　イングランド・スコットランド・ニュージーランド
4	牛肉　ローストビーフとイングランド
5	ビールとハンムラビ法典
6	大豆・とうもろこしとアメリカ
7	オリーブオイルとギリシア
8	チョコレート　マヤ文明とスペイン・アフリカ
9	パエーリャ　イスラムとスペイン・レコンキスタ
10	スパイス　東インド会社の誕生（国家のような商社）
11	ニシンとハンザ同盟
12	ロックフォールチーズとAOC
13	じゃがいもと大飢饉
14	砂糖と茶
15	期末試験（筆記）

シラバス	1 st Year, Hotel/Travel, 1 st Year Bridal, 2 nd Year Bridal- First Term

科目名	English英会話	必修/選択	必修
授業時数	31時間	担当教員	ポール　カタモール
対象学年	1年前期　ホテル・トラベルコース 2年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	To study English,that will help students in their future workplace,vacations abroad and contact with foreigners. To open students minds,to different cultures,manners and ways of thinking.		
到達目標	To build the students level of English and confidence in using it.		
授業の方法	A combination of self study, group work and interaction between students and teacher.		
評価方法	5% of the Total score is ″effort in class″. Here ,I would like to see students trying to interact with the teacher, to use and apply English that has been learnt. Another 15% for Attendance and 80% for Final test.		
授業時間外に必要な学修	Try to make learning English easier, by including it in your interests/hobbies for example reading comic books in English, listening to foreign pop/rock songs, watching movies with or without subtitles, watching Youtube clips from foreign countries.		
使用教材教具	Text book, workbook, songs, DVD, handouts, surveys, photographs, games and everyday conversation.		
留意点	I would like the students to grow and develop, not only as students but as young people changing into adults.To not shy away from people who are different, but to think about and try to engage them in conversation,however simple.		

授業計画	
1	Introductions
2	Numbers
3	Language
4	Airport
5	Food I
6	Food II
7	DVD in English
8	Opposites
9	What do you like?
10	Can/ Cannot
11	In/On/Under/By
12	Body
13	Review for Test
14	Preperation for Test
15	Test

16	

シラバス

科目名	食文化Ⅰ	必修/選択	選択必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	2年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	外食産業に携わるにあたって必要な食文化の知識全般を学び、食文化が自然環境や宗教などの関連で多様に展開してきたこと、そこから食のマナーやタブーが成立してきたことなどを理解する。そして異文化との交流によって変化する性質を持つ食文化を、グローバルな視野で捉えることの必要性について学ぶ。		
到達目標	外食産業に携わるうえで必要な知識を身につけ、その歴史や現代の日本世や世界の食文化の実情を把握し、これからの食文化について各自が自身の考えを持てるようになることを目標とする。		
授業の方法	教材のテキストを中心に進めていきます。		
評価方法	期末に行う筆記試験及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	新聞等で外食産業の記事や食文化関連のニュースに関心を払っておくこと。		
使用教材教具	食文化概論（社団法人全国調理師養成施設協会編）		
留意点	授業を欠席した際には必ずテキスト等の該当範囲の内容を読み理解しておいてください。		

授業計画	
1	食文化の成り立ち
2	食文化とは何か
3	自然環境と食文化
4	宗教と食物禁忌
5	食法・調理法の多様性
6	食文化の共通化と国際化
7	異文化交流による食の国際化
8	食生活の変容と食文化のの創造
9	世界の食事情
10	日本の食文化史
11	①原始～平安時代
12	②鎌倉～安土桃山時代
13	③江戸時代
14	④明治～現代
15	期末試験（筆記）

シラバス

科目名	ブライダルコスチューム	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	朝月　愛美
対象学年	2年前期ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	ドレススタイリストの裏側の仕事である補正・メンテナンス業務を学び、即戦力を身に着けます。		
到達目標	生地の種類やドレスのタイプによる裁縫技術やメンテナンス方法の習得を目指します。		
授業の方法	衣装に関する知識や適切な扱い方を身に付けるために、実習形式で学んでいきます。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度5%、実技テスト80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	他科目の授業にも意欲的に取り組み、ブライダルの知識を深め他の授業に活かしてください。		
使用教材教具	ドレス・タキシード・衣装小物・裁縫道具		
留意点	特になし		

授業計画	
1	ガイダンス・ドレスメンテナンス ドレスの扱い方、ドレスメンテナンスを学ぶ。
2	フィッテング① インナーのフィッティング。相互のサイズを測り、自分自身のインナーのサイズを知る。
3	フィッティング② ウエディングドレス、カラードレスを実際に着て歩く。回数をこなして身に付けていく。
4	フィッテング③
5	裁縫基礎知識①
6	裁縫基礎知識②
7	ドレス補正① 指定したサイズで補正
8	ドレス補正② 指定したサイズで補正
9	夏SP準備 夏SPに使用するドレスや小物のメンテナンス。ドレスのサイズチェック
10	ウォーキング・アテンド ドレス着用時の歩き方や姿勢、アテンドを学ぶ。
11	夏SP準備
12	夏SP準備
13	期末テスト練習 ドレスフィッテングの復習
14	期末テスト ドレスフィッテングのテスト
15	学園祭の準備 ドレスサイズチェック
16	

シラバス

科目名	HR Ⅰ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	1年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	学校生活を有意義なものにできるように学習や学校生活についての理解を深め、来たるべき社会人生活の準備段階として必要な予備知識を伝えていきます。		
到達目標	まずは学校での生活に慣れクラスメイトとの交流を深めながら集団の中の自分を意識して行動できるようになることが目標です。		
授業の方法	講義形式やディスカッション、面談を中心に進めます。		
評価方法	課題等への取り組み方や出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	特にありません。		
使用教材教具	プリント等を適宜配布します。		
留意点	特に全体で取り組む学園祭の打ち合わせなどは自分の役割を意識するようにして下さい。		

授業計画	
1	自己紹介　学校紹介
2	学校行事ガイダンス
3	レクリエーション
4	学園祭ガイダンス①
5	学園祭ガイダンス②
6	個別面談①　面談当事者以外の学生は作文
7	個別面談②　面談当事者以外の学生は作文
8	個別面談③　面談当事者以外の学生は適性検査
9	個別面談④　面談当事者以外の学生は適性検査
10	レクリエーション
11	研修旅行ガイダンス
12	インターンシップについて
13	多文化共生について
14	ディベート
15	学園祭打ち合わせ

シラバス

科目名	フォーマルウェア	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中野　美由紀
対象学年	2年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	講義		
学修内容	正礼装、準礼装、略礼装における時間や格式での着こなしやルールを学ぶ。		
到達目標	11月に実施するフォーマルウェアスペシャリスト検定準2級の取得を目標に、昼、夜、喪の3つのシチュエーションにおける服装のアイテムやルールを習得する。		
授業の方法	正礼装、準礼装、略礼装のフォーマルシーンや特徴、身につけるアクセサリーを解説。また小テストをすることで習得度を測り、検定取得に必要な知識を身につける。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、試験80%（小テスト40%、期末テスト40%）		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	フォーマルウェアルールブック　プリント		
留意点			

授業計画	
1	フォーマルウェアとは
2	昼のフォーマルウェア（男性・正礼装）
3	昼のフォーマルウェア（男性・準礼装）
4	昼のフォーマルウェア（男性・略礼装）
5	昼のフォーマルウェア（女性・正礼装）
6	昼のフォーマルウェア（女性・準礼装）
7	昼のフォーマルウェア（女性・準礼装、略礼装）
8	小テスト① 夜のフォーマルウェア（男性・正礼装）
9	夜のフォーマルウェア（男性・正礼装、準礼装）
10	夜のフォーマルウェア（男性・準礼装、略礼装）
11	夜のフォーマルウェア（女性・正礼装）
12	夜のフォーマルウェア（女性・準礼装）
13	夜のフォーマルウェア（女性・正礼装、略礼装）
14	小テスト②
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	ブライダル実践	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中野　美由紀
対象学年	2年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	講義		
学修内容	お客様にあったブライダルサービス・商品を提供するにあたり、ブライダルコーディネーターに必要な世界の文化、国や行政機関が制定した法令、国内外の宗教、儀礼、地域の習慣など、幅広い知識を学んでいく。		
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級の取得を目指し、ブライダルのエキスパートとして活躍できる知識と能力を身に着ける。		
授業の方法	テキストに沿って講義。特に重要な項目については、参考資料のプリントを配布し内容を深める。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、課題10%、試験70%		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード　プリント　ゼクシィ		
留意点			

授業計画	
1	結婚とは 結婚の定義
2	日本の結婚の歴史
3	↓
4	宗教と結婚式
5	欧米の結婚の歴史 指輪のデザイン
6	欧米の結婚式　ブライダルパーティについて
7	その他の宗教と結婚式
8	ブライダル市場と業種
9	ブライダル関連業種 ブライダルのエリア特性
10	見合い（復習） 婚約記念品　ダイヤモンド4C
11	結納（復習）
12	婚約式、両家顔合わせ
13	挙式の復習（キリスト教式、神前式）
14	↓　（仏前式、人前式）
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	ウェディングプロデュース	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中野　美由紀
対象学年	2年前期　ブライダルビジネスコース）	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	1年次に習得したヘアメイク、色、フラワーの知識を応用し、テーマに沿ったテーブルコーディネートやヘアメイクをプロデュースする。また、学生主体のイベントの企画、準備の時間として活用する。		
到達目標	作品の完成度だけでなく、チームの一員としてそれぞれの役割を責任もって行うこと、チームに貢献する動きをすることを目標とする。		
授業の方法	テーマに沿って、各チームが企画、制作、発表を行う。全体的な色合いや花のデザイン、メニューなどのチームならではのこだわりを作品に反映させることを心掛ける。他社評価からそれぞれがPDCAし、次回の作品に繋げる。		
評価方法	発表内容と授業態度を総合的に評価。授業態度は、企画、準備に積極的に関わったかを重要視する。課題評価はテーマに沿っているか、バランスはどうかなどの他チーム評価と、チームワークはどうだったか、準備の進行具合はどうだったかなどの自チーム評価を総合的に評価する。出席状況15%、授業態度5%、課題80%		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	特になし		
留意点	実習予算の取扱に十分注意する。		

授業計画	
1	オリエンテーション
2	テーブルコーディネート
3	↓
4	↓
5	リゾートウェディングプロデュース
6	↓
7	↓
8	↓
9	↓
10	ミニファッションショーの準備
11	↓
12	↓
13	↓
14	学園祭準備
15	↓
16	

シラバス

科目名	ホテル実践	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	斎藤　誠
対象学年	2年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	フロント・オフィスをより深く理解し、実務者としてホテルで働く為の知識を習得します。		
到達目標	フロント・オフィスの業務内容についての基本知識を身に付け、さらにホテルの最新動向も授業に反映しながら、即戦力として現場で働く為の能力を身に付けます。		
授業の方法	教材テキストに沿って進めていきます。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度5%、試験80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	ホテル業界のニュースをチェックしたり新聞を読むなど、業界の動向にも関心を持つようにして下さい。		
使用教材教具	ホテルテキスト宿泊Ⅰ フロント・オフィス編		
留意点	授業内で説明したホテルの専門用語の意味を中心に復習をして下さい。		

授業計画	
1	フロントオフィスの組織と業務
2	客室のタイプ
3	料金システム
4	予約業務の重要性
5	客室予約の種類（1）
6	客室予約の種類（2）
7	予約受付の流れ（1）
8	予約受付の流れ（2）
9	予約受付の流れ（3）
10	電話応対（1）
11	電話応対（2）
12	電話応対（3）
13	予約のキャンセル及び変更
14	授業まとめ
15	期末試験
16	

シラバス

科目名	ホテル運営管理	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	斎藤　誠
対象学年	2年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	1年次に学んだ知識を活かし、マネジメントの知識や方法について理解を高めることで、実務者としての高等な知識を習得します。		
到達目標	運営管理に特化した内容を学び知識を身に付けることで、即戦力としてホテルの現場で働く為の能力を身に付けます。		
授業の方法	教材テキストに沿って進めていきます。さらに、定期的に問題演習も取り入れながら、理解度を深めていきます。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度5%、試験80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	ホテル業界のニュースをチェックしたり新聞を読むなど、業界の動向にも関心を持つようにして下さい。		
使用教材教具	ホテル・マネジメント概論		
留意点	授業内で説明したホテルの専門用語の意味を中心に復習をして下さい。		

授業計画	
1	日本の宿泊業の現状
2	ホテル組織論
3	ホテル経営論
4	業務運営管理・マネージャーの業務
5	ホテル法務・購買管理・人材マネジメント
6	ホテル・マーケティング（1）
7	ホテル・マーケティング（2）
8	ホテル会計（1）
9	ホテル会計（2）
10	企画書・提案書等の資料・数字を読む（1）
11	企画書・提案書等の資料・数字を読む（2）
12	企画書・提案書等の資料・数字を読む（3）
13	企画書・提案書等の資料・数字を読む（4）
14	授業まとめ
15	期末試験
16	

シラバス

科目名	レストランサービス実践(実習)	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	斎藤　誠
対象学年	2年前期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	実習		
学修内容	レストランサービスに必要な実践的技術や知識、サービスマインドを習得していきます。		
到達目標	「レストランサービス技能検定3級」の実技試験に合格できるサービスレベルへの到達を目指します。		
授業の方法	レストラン実習室にて制服を着用してスタッフ役とゲスト役に分かれて交互に実習を行います。デモンストレーションで実習のポイントを確認後、実際のレストランで使用されているサービス用器具を使用して実習を行います。		
評価方法	成績については、座学の筆記試験40%、実技試験40%、出席状況15%、授業態度5%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	「レストランサービス実践」(座学)で学んだ知識と実習内容のまとめ、実習室での復習を行います。		
使用教材教具	毎回異なる実習内容に応じたサービス器具(皿・グラス・カトラリー等)を使用します。		
留意点	即戦力として現場でサービスを提供するためにも、授業時間以外の空き時間を利用しながら反復練習を行ってください。		

授業計画	
1	オリエンテーション・レストランサービス技能検定について
2	接客の基本・什器備品の知識に関する復習
3	朝食サービス(1)
4	朝食サービス(2)
5	朝食サービス(3)
6	朝食サービス(4)
7	テーブルサービス実習(1)
8	テーブルサービス実習(2)
9	テーブルセッティング復習
10	ディナーサービス(1)
11	ディナーサービス(2)
12	ディナーサービス(3)
13	ディナーサービス(4)
14	授業まとめ
15	期末試験
16	

シラバス

科目名	バーカウンター実務	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中條　安哲・斎藤　誠
対象学年	2年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	実習・講義		
学修内容	バーやカフェの基礎知識や技術、ホスピタリティマインドを学ぶ。		
到達目標	バーやカフェの運営に必要な基礎知識や技術を身に付ける。		
授業の方法	バーカウンター実習室にて、カフェやカクテルの基本技術の実習。 教室にて料飲サービスの基礎知識を学ぶ。		
評価方法	筆記期末試験50%・実習評価30%・出席状況15%・授業態度5%		
授業時間外に必要な学修	実習や座学で学んだことを復習、次回の予習を行う。		
使用教材教具	(実習)授業計画に基づき、実習内容に応じたサービス器具を使用 (座学)授業計画に基づき、授業内容をまとめたプリントを配付		
留意点	バーやカフェの運営に必要な「知識・技術・マインド」を並行して学ぶ。		

授業計画	
1	①レストラン検定　実技課題練習(検定受検者)　②料飲サービス実習(受検者以外　カクテル・カフェ他)
2	①レストラン検定　実技課題練習(検定受検者)　②料飲サービス実習(受検者以外　カクテル・カフェ他)
3	①レストラン検定　実技課題練習(検定受検者)　②料飲サービス実習(受検者以外　カクテル・カフェ他)
4	①レストラン検定　実技課題練習(検定受検者)　②料飲サービス実習(受検者以外　カクテル・カフェ他)
5	①レストラン検定　実技課題練習(検定受検者)　②料飲サービス実習(受検者以外　カクテル・カフェ他)
6	料飲サービス実習(ゲリドンサービス・カクテル・カフェ他)
7	料飲サービス実習(ゲリドンサービス・カクテル・カフェ他)
8	料飲サービス実習(ゲリドンサービス・カクテル・カフェ他)
9	料飲サービス実習(ゲリドンサービス・カクテル・カフェ他)
10	座学(ワイン①)
11	座学(ワイン②)
12	座学(ワイン③)
13	座学(ワイン④)
14	後期まとめ(座学)
15	後期期末試験(筆記)
16	

シラバス　1st Year Hotel/Travel, 1 st Year Bridal, 2nd Year Bridal – 2 nd Term

科目名	English英会話	必修/選択	必修
授業時数	31時間	担当教員	ポール　カタモール
対象学年	1年後期　ホテル・トラベルコース 2年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	To study English,that will help students in their future workplace,vacation,contact withforeigners. To open students minds,to different cultures,manners and ways of thinking.		
到達目標	To build the students level of English and confidence in using it.		
授業の方法	A combination of self study, group work and interaction between students and teacher.		
評価方法	5% of the Total score is ″effort in class″. Here ,I would like to see students trying to interact with the teacher, to use and apply English that has been learnt. Another 15% for Attendance and 80% for Final test.		
授業時間外に必要な学修	Try to make learning English easier, by including it in your interests/hobbies for example reading comic books in English, listening to foreign pop/rock songs, watching movies with or without subtitles, watching Youtube clips from foreign countries.		
使用教材教具	Text book, workbook, songs, DVD, handouts, surveys, photographs, games and everyday conversation.		
留意点	I would like the students to grow and develop, not only as students but as young people changing into adults.To not shy away from people who are different, but to think about and try to engage them in conversation,however simple.		

授業計画	
1	Present– Past
2	Family
3	Medical
4	Shopping
5	Where are you from?
6	Survey Quiz
7	What are you doing tommorrow?
8	Ordering food
9	Transport
10	Feelings
11	Christmas
12	I lost my bag!
13	What time is your flight?
14	Review for Test
15	Preperation for Test
16	Test

シラバス

科目名	フォーマルウェア	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中野　美由紀
対象学年	2年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	講義		
学修内容	正礼装、準礼装、略礼装のルールを基に、食事会やクリスマスパーティなど日常生活の中のフォーマルシーンについて学ぶ。		
到達目標	フォーマル文化を正しく理解し、様々なフォーマルシーンに対応できる知識を養う。		
授業の方法	フォーマルシーンにおける特徴や立場によって身に着ける服装の違いを解説。また小テストをすることで習得度を測り、フォーマルウェアのマナーとして必要な知識を身につける。		
評価方法	・フォーマルスペシャリスト検定受検者…出席状況15%、授業態度5%、試験80%（小テスト40%、検定40%） ・フォーマルスペシャリスト検定未受検者…出席状況15%、授業態度5%、試験80%（小テスト40%、期末40%）		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	フォーマルウェアルールブック　プリント		
留意点			

授業計画	
1	葬儀の種類について
2	喪のフォーマルウェア（男性）
3	喪のフォーマルウェア（女性）
4	小テスト①
5	帽子のフォーマル（男性）
6	帽子のフォーマル（女性）
7	小テスト② 香水の種類と基礎知識
8	検定対策
9	検定対策
10	レストランウェディング 子供フォーマル
11	小テスト③ 海外ウェディング
12	クルーズ 演奏会
13	結婚記念日 長寿の会
14	小テスト④ 海外のパーティトレンド
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	1年後期ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	演習		
学修内容	就職活動を通して社会や会社について学び自分自身の再発見や再認識に結び付ける。		
到達目標	就職活動を通し自分を知ることと社会の仕組みや働くことの意義を自分なりに考えられようになることを目標とします。		
授業の方法	発表やグループディスカッションを通してコミュニケーション力、作文での自己表現力の向上を目指します。また講義により社会の仕組みへの理解を深めます。		
評価方法	課題提出及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	身の回りの社会人に社会や企業の話をたくさん訊くようにして下さい。		
使用教材教具	適宜配布します。		
留意点	ディスカッションなどには積極的に取り組むようにして下さい。やむを得ず欠席の場合は授業内容についてクラスメートに確認するか担当教員に問い合わせをしてください。		

授業計画	
1	就活個別指導⑥
2	就活全体指導⑮
3	就活全体指導⑯
4	就活全体指導⑰
5	就活全体指導⑱
6	就活全体指導⑲
7	就活全体指導⑳
8	就活全体指導㉑
9	就活全体指導㉒
10	就活全体指導㉓
11	就活全体指㉔
12	就活全体指導㉕
13	就活全体指導㉖
14	就活全体指導㉗
15	社会人としての心構え

シラバス

科目名	ビジネス応用	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	野口　輝美
対象学年	2年後期	実務/一般	実務
形式	講義		
学修内容	どのような職種に就いたとしても必要とされるビジネスマナーを実践的に学びます。また、社会人として求められるコミュニケーション能力についても習得します。		
到達目標	実社会における様々なビジネスシーンでのコミュニケーション能力や対応力を身につけます。		
授業の方法	演習や実践を交えて、積極的な学習を促します。		
評価方法	配分割合（出席状況15%・授業態度5%・レポート20%・期末テスト60%）		
授業時間外に必要な学修	日常生活の中のあらゆるシーンでも観察力・気づきを持つこと。		
使用教材教具	日本能率協会マネジメントセンター　2022ビジネス能力ジョブパス3級公式テキスト・副教材として資料配布		
留意点	本講義の性質上、遅刻や忘れ物や不適切な授業態度（携帯電話使用・飲食・いねむり等）は減点します。		

授業計画	
1	ビジネス文書のマナー①ビジネス文書の種類とフォーム
2	ビジネス文書のマナー②社内文書作成
3	ビジネス文書のマナー③社外文書作成
4	ビジネスメールのマナー
5	訪問のマナー
6	名刺交換のポイントと実習
7	来客応対の流れ（案内・席次・呈茶・お見送り）
8	おつきあいのマナー①慶事のマナー
9	おつきあいのマナー②弔事のマナー
10	おつきあいのマナー③贈り物のマナー
11	おつきあいのマナー④六曜・賀寿
12	おつきあいのマナー⑤会食のマナーと会食中のコミュニケーション
13	組織内コミュニケーション
14	総括
15	後期期末テスト
16	

シラバス

科目名	ヘア＆メイク実践	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	徳重千鶴
対象学年	2年　後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	学園祭という、1つの集大成を成し遂げることで、自信と更なる目標を立てていきます。		
到達目標	1年生から学んできたメイクと、2年生で学んだヘアーを全てトータルで作品にすることで、イメージしたものを作れるイマジネーションと、技術を学びます。		
授業の方法	3人組になり、モデル、ヘアー担当、メイク担当にわかれます。そして、ドレス、撮影まで行います。		
評価方法	前期と同じ		
授業時間外に必要な学修	前期と同じ		
使用教材教具	前期と同じ		
留意点	前期と同じ		

授業計画	
1	学園祭準備
2	学園祭準備
3	学園祭準備
4	相モデルメイク「しばらくメイクから離れていたので、メイクを復習します。
5	デザイン画を描いて、3人組で作品作りをします。グループ分け、デザイン画制作
6	作ってみる。
7	作品の発表、プレゼンテーション
8	今までの理解度の浅いところを振り返りながら、3人組で作品作り。グループ分け、デザイン画制作
9	作ってみる。
10	作品の発表、プレゼンテーション
11	作品作り、後期の実技テストは、3人組での作品作りになますので、このあたりから、準備を進めていきます。グループ分け、デザイン画制作
12	作ってみる。
13	ドレスを着ての発表、プレゼンテーション。この作品を各グループごとに、完成作品、デザイン画、アピールポイントを写真紙に編集して、まとめます。
14	後期実技テストのグループ分け、デザイン画制作
15	作ってみる。
16	3人組での実技テスト、採点まですする関係から、ドレスの着用はなしで。

シラバス

科目名	和装基礎	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	実技…木村えりこ　講義…中里綾乃
対象学年	2年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	実習・講義		
学修内容	実技で着付けの手順、小物、取り扱い方を、講義で着物の種類や格、特徴を学ぶ。		
到達目標	着物の扱い方、小物の役割を理解し、着物のトラブルにも対応できるスキルと現場で活かせる実践力を身に着ける。		
授業の方法	人数を半分に分け、実技と講義を週交代で実施する。		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、試験80%（実技…40%、講義…40%）		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	着物、帯、長襦袢、腰ひも、伊達じめ、帯締め、帯揚げ、プリント		
留意点			

授業計画	
1	実技…長襦袢まで　講義…染のきもの　友禅
2	↓
3	実技…長襦袢まで　講義…織のきもの　紬
4	↓
5	実技…長襦袢から伊達じめまで　講義…織のきもの　お召
6	↓
7	実技…長襦袢から伊達じめまで　講義…織のきもの　絣
8	↓
9	実技…帯結びまで　講義…織のきもの　木綿
10	↓
11	実技…帯結びまで　講義…織のきもの　麻、芭蕉布
12	↓
13	着付総復習
14	期末テスト①
15	期末テスト②
16	

シラバス

科目名	観光地理	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	荻原　秀貴
対象学年	2年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	国内に関しては、都道府県含め県庁所在地や観光地についての社会人に求められる基本的な知識を学びます。 さらには、世界遺産等の知識、また旅程表作成とプレゼンテーションで、発想力・プレゼン力を身に付けていきます。		
到達目標	各地域の位置の把握、その地を代表する観光地を紹介できるようになるまでになってもらいます。		
授業の方法	基本的には、日本地図・世界地図を活用し、映像や写真等も見てもらうことで視覚的に学んでいきます。 その他、プリントを用意して、穴埋めの選択問題形式で問題を解いていきます。		
評価方法	日々の授業態度・出席日数、そして期末試験の点数にて評価します。出席状況15%、授業態度5%、課題（試験）80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	興味を持った観光地について、トラベル実習室にある旅行雑誌を活用して学んで頂きたいです。 近場でもいいので、調べた観光地に実際に行けると尚良いかと思います。		
使用教材教具	日本地図		
留意点	地理についてはまずは興味を持つことが大事になってくるので、ぜひその点を心がけて頂きたいです。		

授業計画	
1	日本地図基本：都道府県・県庁所在地①
2	日本地図基本：都道府県・県庁所在地②
3	日本三大〇〇について
4	各都道府県の特産品・名産品①
5	各都道府県の特産品・名産品②
6	各都道府県の特産品・名産品③
7	世界遺産について①（国内）
8	観光地についてグループで旅程表作成①（国内）
9	観光地についてグループで旅程表作成②（国内）
10	観光地についてグループで旅程表作成③（国内）
11	観光地についてグループで旅程表作成④（国内）
12	観光地についてグループでプレゼン①（国内）※パワーポイントも活用
13	観光地についてグループでプレゼン②（国内）※パワーポイントも活用
14	期末テスト対策
15	期末試験
16	

シラバス

科目名	食文化Ⅱ	必修/選択	選択必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	2年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	外食産業に携わるにあたって必要な食文化の知識全般を学び、食文化が自然環境や宗教などの関連で多様に展開してきたこと、そこから食のマナーやタブーが成立してきたことなどを理解する。そして異文化との交流によって変化する性質を持つ食文化を、グローバルな視野で捉えることの必要性について学ぶ。		
到達目標	外食産業に携わるうえで必要な知識を身につけ、その歴史や現代の日本世や世界の食文化の実情を把握し、これからの食文化について各自が自身の考えを持てるようになることを目標とする。		
授業の方法	教材のテキストを中心に進めていきます。		
評価方法	期末に行う筆記試験及び出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	新聞等で外食産業の記事や食文化関連のニュースに関心を払っておくこと。		
使用教材教具	食文化概論（社団法人全国調理師養成施設協会編）		
留意点	授業を欠席した際には必ずテキスト等の該当範囲の内容を読み理解しておいてください。		

授業計画	
1	日本料理の特徴
2	日本料理様式
3	日本料理の食事作法
4	行事食と郷土料理
5	食文化の地域性
6	行事食
7	郷土料理
8	現代の食生活と未来の食文化
9	世界の料理と食文化
10	①西洋料理の変遷
11	②西洋料理様式
12	中国料理の食文化①
13	中国料理の食文化②
14	その他の国の食文化
15	期末試験（筆記）

シラバス

科目名	HRⅡ	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	作能弘光
対象学年	1年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	一般教員
形式	講義		
学修内容	学園祭やクリスマス会等のイベントに取り組みクラスメートらと親睦を深め集団の中の個人として自覚を持つ。		
到達目標	クラスメイトとの交流を深めながら集団の中の自分を意識して行動できるようになることが目標です。		
授業の方法	イベント企画と準備、反省を通してPDCAサイクルを行う。		
評価方法	イベント等への取り組み方や出席状況、授業態度を勘案して評価します。		
授業時間外に必要な学修	特にありません。		
使用教材教具	プリント等を適宜配布します。		
留意点	特に全体で取り組む学園祭の打ち合わせなどは自分の役割を意識するようにして下さい。		

授業計画	
1	学園祭打ち合わせ
2	学園祭打ち合わせ
3	学園祭反省会
4	研修旅行ガイダンス
5	研修旅行ガイダンス
6	レクリエーション
7	レクリエーション
8	レクリエーション
9	レクリエーション
10	レクリエーション
11	レクリエーション
12	レクリエーション
13	レクリエーション
14	レクリエーション
15	卒業手続き等について

シラバス

科目名	コーディネーター実践	必修/選択	選択必修
授業時数	30時間	担当教員	中野　美由紀
対象学年	2年後期ブライダルビジネスコース・ホテルコース	実務/一般	実務
形式	講義		
学修内容	ブライダルコーディネート業務に必要な基礎的な知識・技術を理解する。		
到達目標	ブライダル技能検定取得を目指す動機付けとして基礎知識習得を目標とし、アソシエイトブライダルコーディネーター取得を目指す		
授業の方法	問題を解きながら出題傾向を把握し、技能検定に必要な知識の定着を図る		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、試験80%		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、プリント		
留意点			

授業計画	
1	筆記試験対策①
2	筆記試験対策②
3	筆記試験対策③
4	筆記試験対策④
5	復習テスト①
6	リゾートホテルウェディングプレゼンテーション
7	
8	
9	
10	
11	筆記試験対策⑤
12	筆記試験対策⑥
13	ASS認定試験
14	銀婚式プロデュース
15	
16	

シラバス

科目名	ブライダル実践	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中野　美由紀
対象学年	2年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	講義		
学修内容	ブライダル商品・サービスの内容、ブライダル市場の動向など、より専門的な内容を学習する。		
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級の取得を目指し、ブライダルのエキスパートとして活躍できる知識と能力を身に着ける。		
授業の方法	テキストに沿って講義。特に重要な項目については、参考資料のプリントを配布する。また学んできた知識を活かし進行表を作成させ、実践力を養う。		
評価方法	出席状況15%、授業態度15%、課題20%、試験50%		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード　プリント　ゼクシィ		
留意点			

授業計画	
1	招待状のルールと作成
2	配席のルールと人数計算
3	婚礼料理とドリンク
4	婚礼衣装　洋装①
5	洋装②
6	和装
7	ブーケ、フラワーアイテム
8	ヘアメイク、ネイル 記録・記念アイテム
9	コーディネートの考え方、イメージ
10	婚礼施設の市場調査
11	披露宴の進行表作成
12	
13	ブライダルコーディネート技能検定対策
14	総復習
15	期末テスト
16	

シラバス

科目名	ブライダルゼミ	必修/選択	選択必修
授業時数	30時間	担当教員	中野　美由紀
対象学年	2年後期　ブライダルビジネス・ホテルコース	実務/一般	実務
形式	講義		
学修内容	ブライダルコーディネーターに必要な専門知識の習得、ブライダル、ホテル業界の現状を学び、検定に備える。		
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定の取得を目指す。		
授業の方法	問題を解きながら出題傾向を把握し、技能検定に必要な知識の定着を図る		
評価方法	出席状況15%、授業態度5%、試験80%		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、プリント		
留意点			

授業計画	
1	筆記試験対策
2	
3	
4	
5	
6	
7	実技試験対策
8	
9	
10	筆記試験対策問題と解説
11	
12	
13	バウリニューアルプロデュース
14	
15	
16	

シラバス

科目名	パソコン応用	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	須永　充代
対象学年	2年　後期　ブライダル	実務/一般	一般
形式	演習		
学修内容	Word・Excelのセミナーテキストを利用し、実務に役立てる機能問題を繰り返し解くことで、機能をマスターします。		
到達目標	パソコン基礎で学んだ機能の復習と、更に応用機能を身に付けることで、即戦力に繋がるレベルまで上げていきます。		
授業の方法	Word・Excelのセミナーテキストの機能を説明後、課題を各自のペースで解いていきます。		
評価方法	普段の授業態度と、率先して課題に取り組んでいるかを評価します。成績については、試験問題80%、出席率15%、授業態度5%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	履歴書や請求書などの書類に興味を持ち、どのようにWordやExcelで作成すれば効率よく綺麗に仕上げることが出来るかを考え、実際に作成できるようなスキルを持って欲しいです。		
使用教材教具	Word＆Excel　操作マスター　テキスト使用（FOM出版）		
留意点	問題集を解くことで、実務を正確に早く仕上げられる力をつけるようにしたい。		

授業計画	
1	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson8.4
2	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson9.10.11.12
3	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson13.14.15
4	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson18.19.21
5	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson22.23
6	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson24
7	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson25.27.28.29
8	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson30.31.32.33
9	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson34.35.36.39
10	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson37.38.40.41.42
11	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson43.45.46
12	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson44.47.48
13	Word＆Excel　操作マスターテキスト　Lesson49.50
14	Excelの課題プリント　なるべく早めにレッスンを終わりにするようにし、課題プリントで実力をつける
15	前期テスト
16	

シラバス

科目名	ブライダルコスチューム	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	朝月　愛美
対象学年	2年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	ドレススタイリストの裏側の仕事である補正・メンテナンス業務を学び、即戦力を身に着けます。		
到達目標	生地の種類やドレスのタイプによる裁縫技術やメンテナンス方法の習得を目指します。		
授業の方法	衣装に関する知識や適切な扱い方を身に付けるために、実習形式で学んでいきます。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度5%、実技テスト80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	他科目の授業にも意欲的に取り組み、ブライダルの知識を深め他の授業に活かしてください。		
使用教材教具	ドレス・タキシード・裁縫道具		
留意点	特になし		

授業計画	
1	学園祭準備①フィッティングを行い、モデルの体系に合わせてドレスを直していく。
2	学園祭準備②
3	学園祭準備③
4	ドレスメンテナンス① 夏SP、学園祭に使用したドレスクリーニング・メンテナンスを行う。
5	ドレスメンテナンス②
6	タキシードフィッティング・すそのお直し
7	ドレスのサイズ直し① ドレスのサイズ直しの基礎を学ぶ。
8	ドレスのサイズ直し②
9	ドレスのサイズ直し③
10	サイズチェックからのドレス直し① モデルの体系に合わせ、ドレスを直していく練習を行う。
11	サイズチェックからのドレス直し②
12	サイズチェックからのドレス直し③
13	サイズチェックからのドレス直し④
14	総復習
15	期末テストの練習 ドレス・タキシードの直しの練習を行う。
16	期末テスト ドレス・タキシードのサイズ直し

シラバス

科目名	ウェディングプロデュース	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	中野　美由紀
対象学年	2年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務
形式	実習		
学修内容	1年次に習得したヘアメイク、色、フラワーの知識を応用し、テーマに沿ったテーブルコーディネートやヘアメイクをプロデュースする。また、学生主体のイベントの企画、準備の時間として活用する。		
到達目標	作品の完成度だけでなく、チームの一員としてそれぞれの役割を責任もって行うこと、チームに貢献する動きができることを目標とする。		
授業の方法	テーマに沿って、各チームが企画、制作、発表を行う。全体的な色合いや花のデザイン、メニューなどのチームならではのこだわりを作品に反映させることを心掛ける。他社評価からそれぞれがPDCAし、次回の作品に繋げる。		
評価方法	発表内容と授業態度を総合的に評価。授業態度は、企画、準備に積極的に関わったかを重要視する。課題評価はテーマに沿っているか、バランスはどうかなどの他チーム評価と、チームワークはどうだったか、準備の進行具合はどうだったかなどの自チーム評価を総合的に評価する。出席状況15%、授業態度5%、課題80%		
授業時間外に必要な学修			
使用教材教具	特になし		
留意点	実習予算の取扱に十分注意する。		

授業計画	
1	学園祭準備
2	↓
3	人前結婚式プロデュース
4	↓
5	↓
6	↓
7	↓
8	テーブルコーディネート
9	↓
10	↓
11	披露宴プロデュース
12	↓
13	↓
14	↓
15	↓
16	

シラバス

科目名	ホテル実践	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	斎藤　誠
対象学年	2年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	ホテルにおける宿泊業務の組織やフロントの特性、中でも宿泊会計の流れを中心に学んでいきます。		
到達目標	フロントオフィスの業務内容(チェックアウト時の応対や宿泊会計等)について、基本知識や技術の習得を目指します。		
授業の方法	使用テキストに沿った座学形式の授業が中心となりますが、実習も交えつつ座学内容をフォローしていく連動した授業を行います。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度5%、試験80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	授業内で説明したホテルの専門用語の意味を中心に復習をして下さい。		
使用教材教具	ホテルテキスト宿泊Ⅰ フロント・オフィス編		
留意点	特にありません。		

授業計画	
1	レセプション業務
2	ルームアサインメント
3	チェックイン業務（1）
4	チェックイン業務（2）
5	チェックアウト業務（1）
6	チェックアウト業務（2）
7	夜勤業務
8	フロントキャッシャー業務（1）
9	フロントキャッシャー業務（2）
10	フロントキャッシャー業務（3）
11	宿泊料金計算（1）
12	宿泊料金計算（2）
13	宿泊料金計算（3）
14	授業まとめ
15	期末試験
16	

シラバス

科目名	ユニバーサルサービス	必修/選択	必修
授業時数	30時間	担当教員	斎藤　誠
対象学年	2年後期　ブライダルビジネスコース	実務/一般	実務教員
形式	講義		
学修内容	接客業界で必要となるさまざまなお客様へのサービス方法や知識を習得します。特に近年浸透しつつある“ユニバーサル”という言葉を理解した上で、お客様一人ひとりに合ったサービスとは何なのか、自分にはどのようなサービスが出来るのかを考えていく授業です。		
到達目標	身体にハンディキャップを持ったお客様やさまざまな事由を持つお客様に対し、自信を持って接客を出来るように基本知識を身に付けます。		
授業の方法	ユニバーサルサービスの概要や用語、基本知識をまとめたプリントに沿って学習していきます。さらに、ケーススタディも取り入れながら、自分だったらこの場面でどのようなサービスをお客様に提供するかを考えてもらう時間を設けます。		
評価方法	成績については、出席状況15%、授業態度5%、試験80%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	自分の身の回りで目の当たりにするサービスに関心を持つようにして下さい。また、サービスだけに注目するのではなく施設の案内表示(看板、メニュー表記など)や利用する施設自体にも興味を持つようにして下さい。		
使用教材教具	適宜プリントを配布します。		
留意点	ケーススタディに取り組んでもらう際は、他人事と捉えさせずに「自分ならどうするべきなのか」という考え方を定着させるようにしていきます。		

授業計画	
1	ユニバーサルサービスの基本
2	ユニバーサルサービスに取り組むメリット
3	ユニバーサルサービスの実践に向けて
4	視覚に不自由を感じている方への接客・接遇（1）
5	視覚に不自由を感じている方への接客・接遇（2）
6	聴覚に不自由を感じている方への接客・接遇（1）
7	聴覚に不自由を感じている方への接客・接遇（2）
8	肢体に不自由を感じている方への接客・接遇（1）
9	肢体に不自由を感じている方への接客・接遇（2）
10	認知症がある高齢者へのサービス
11	さまざまなお客様へのサービス（1）
12	さまざまなお客様へのサービス（2）
13	さまざまなお客様へのサービス（3）
14	授業まとめ
15	期末試験
16	